【全国版】

18歳人口予測
大学・短期大学・専門学校進学率
地元残留率の動向

【将来予測　2022～2034年】

■18歳人口予測　P3～P8

・2022年112.1万人→2034年100.6万人（11.5万人減少）
・東北の減少率が高く、6県中4県で減少率20%以上
・2022年比減少率が高いのは東北（80.9%）、減少数が大きいのは近畿（22,958人減）

【経過推移　2013年～2022年】

■進学率（現役・過年度含）の推移　P9～P15

大学進学率(現役)
・2013年47.4%→2022年55.3%（7.9ポイント上昇）
・上昇が大きいのは、1位 北海道（135.3）、2位 四国（120.4）、3位 東北（118.3）※注
・進学率が高いのは、南関東、近畿、東海の三大都市圏

短期大学進学率（現役）
・ 2013年5.4%→2022年3.7%（1.7ポイント低下）
・低下が大きいのは、1位 南関東（62.5）、2位 東海（63.2）、3位 近畿（65.6）※注
・進学率が高いのは、北陸、甲信越、東北

専門学校進学率（現役）
・2013年17.0%→2022年16.7%（0.3ポイント低下）
・上昇が大きいのは、1位 東海（104.2）、2位 北関東（102.2）、3位 九州沖縄（102.1）。※注
・進学率が高いのは、甲信越、北海道、九州沖縄

都道府県別進学率（現役・2022年）
・大学進学率1位は東京、短期大学進学率1位は大分、専門学校進学率1位は新潟

大学・短期大学・専門学校進学率（現役・過年度含 比較・ 2013～2022年）
・2022年現役と過年度含の進学率の差は、大学は1.3ポイント（過年度含が高い）
・短期大学は差なし

注）※の（）内の数値は、2013年を100としたときの2022年の指数

■地元残留率の推移　P16～P24

・大学入学者の地元残留率は、2013年43.4%→2022年44.8%（1.4ポイント上昇）
・短期大学入学者の地元残留率は、2013年68.8%→2022年71.8%（3.0ポイント上昇）
・大学入学者の地元残留率1位は愛知（71.6%）
・短期大学入学者の地元残留率1位は福岡（93.1%）

■18歳人口減少率×地元残留率　P25・26

・大学入学者：都道府県別：2022→2034年
・短期大学入学者：都道府県別：2022→2034年

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルート リクルート進学総研
https://souken.shingakunet.com/

分析・データついて

■分析・データについて
データ元：文部科学省「学校基本調査」

① 18歳人口概算は、文部科学省「学校基本調査」より、以下の通り定義して算出した。
- 18歳人口＝3年前の中学校卒業者及び中等教育学校前期課程修了者数＋「義務教育学校卒業者数（H29年度より）」
- 中学校卒業者数＝高校生＋フリーター＋就職者　全て含む

② 表内の「年」に属する18歳とは、その年の3月に卒業を迎える高校3年生を指す。
③ 表内の「指数」とは、グラフ開始年の値を100とおいた際の値を示す。
④ 進学率（現役）とは、進学者数（大学・短期大学・専修学校専門課程（専門学校））÷高等学校卒業者数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）で算出した。
⑤ 残留率とは、自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合。（浪人含）
⑥ 図表で利用している百分率（%）は、小数点第2位を四捨五入しているため、四捨五入の結果で数値の和が100.0にならない場合がある。
⑦ エリア別分析における各エリアに含まれる都道府県については以下の通り。

北海道　：北海道
東北　　：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北関東　：茨城、栃木、群馬
南関東　：埼玉、千葉、東京、神奈川
甲信越　：新潟、山梨、長野
北陸　　：富山、石川、福井
東海　　：岐阜、静岡、愛知、三重
近畿　　：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国　　：鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国　　：徳島、香川、愛媛、高知
九州沖縄：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

【年早見表】

学校基本調査		18歳人口		３年前の中学・中等教育卒業者数
		図表（年）	人数	
確報	学校基本調査公表	2022	1,121,285	（平成31年）2019年　の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校卒業者数
確報	進学総研集計（予測）	2023	1,097,416	（令和2年）2020年　の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校卒業者数
確報	進学総研集計（予測）	2024	1,063,451	（令和3年）2021年　の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校卒業者数
確報	進学総研集計（予測）	2025	1,090,562	（令和4年）2022年　の中学校卒業者+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校卒業者数
確報	進学総研集計（予測）	2026	1,092,647	（令和4年）2022年　の中学校3年生+中等教育学校前期課程3年生＋義務教育学校9年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2027	1,084,271	（令和4年）2022年　の中学校2年生+中等教育学校前期課程2年生＋義務教育学校8年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2028	1,068,477	（令和4年）2022年　の中学校1年生+中等教育学校前期課程1年生＋義務教育学校7年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2029	1,068,876	（令和4年）2022年　の小学校6年生＋義務教育学校6年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2030	1,050,143	（令和4年）2022年　の小学校5年生＋義務教育学校5年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2031	1,034,714	（令和4年）2022年　の小学校4年生＋義務教育学校4年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2032	1,023,592	（令和4年）2022年　の小学校3年生＋義務教育学校3年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2033	1,013,581	（令和4年）2022年　の小学校2年生＋義務教育学校2年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2034	1,005,782	（令和4年）2022年　の小学校1年生＋義務教育学校1年生の生徒数

18歳人口予測（全体：全国：2022～2034年）

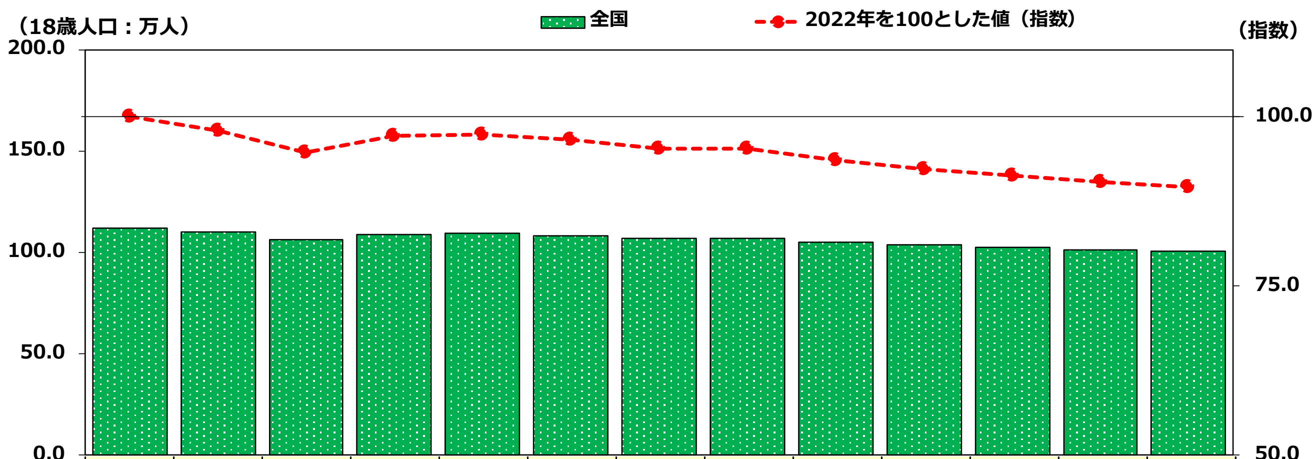
■2022年112.1万人→2034年100.6万人（11.5万人減少）

・全体の18歳人口は、以下の3段階を経て経年的に減少する。

① 2022年～2024年：3年連続減少（112.1万人から106.3万人、5.8万人減少）。
特に2023～2024年の1年で3.4万人と大きく減少する。

② 2025年～2027年：2025年に109.1万人と2024年106.3万人に対し2.8万人増加に転じ、
2026年は109.3万人で横ばい、2027年は108.4万人と微減が続く。

③ 2028年～2034年：2028年は106.8万人と2027年108.4万人に対し再び1.6万人減少し、
2034年は100.6万人となる。



		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
全体	人数（万人）	112.1	109.7	106.3	109.1	109.3	108.4	106.8	106.9	105.0	103.5	102.4	101.4	100.6
	指数	100.0	97.9	94.8	97.3	97.4	96.7	95.3	95.3	93.7	92.3	91.3	90.4	89.7

① ② ③

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

■男女共に12年間で約11%の減少

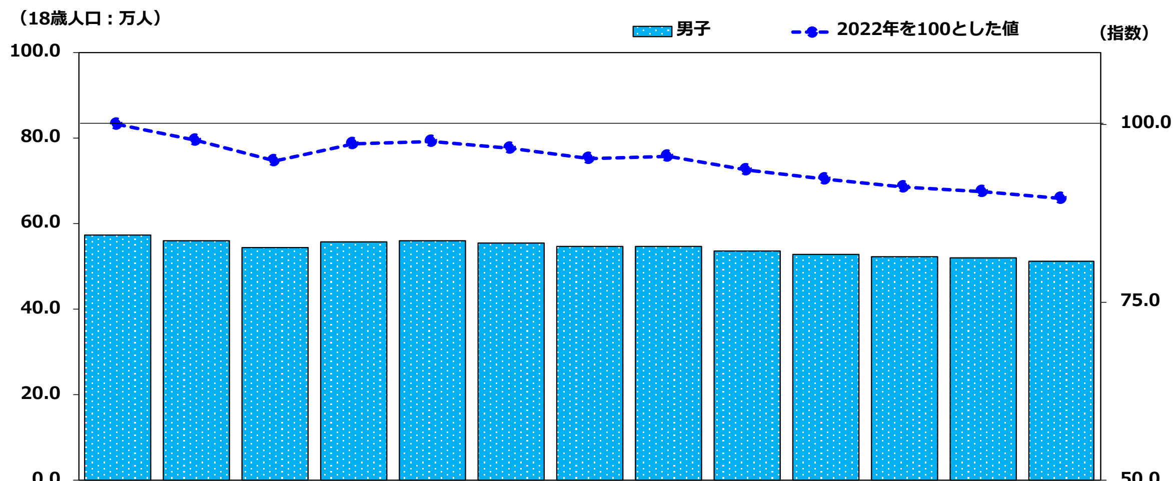
減少のスピード・時期は男女差がほとんどない。

男子

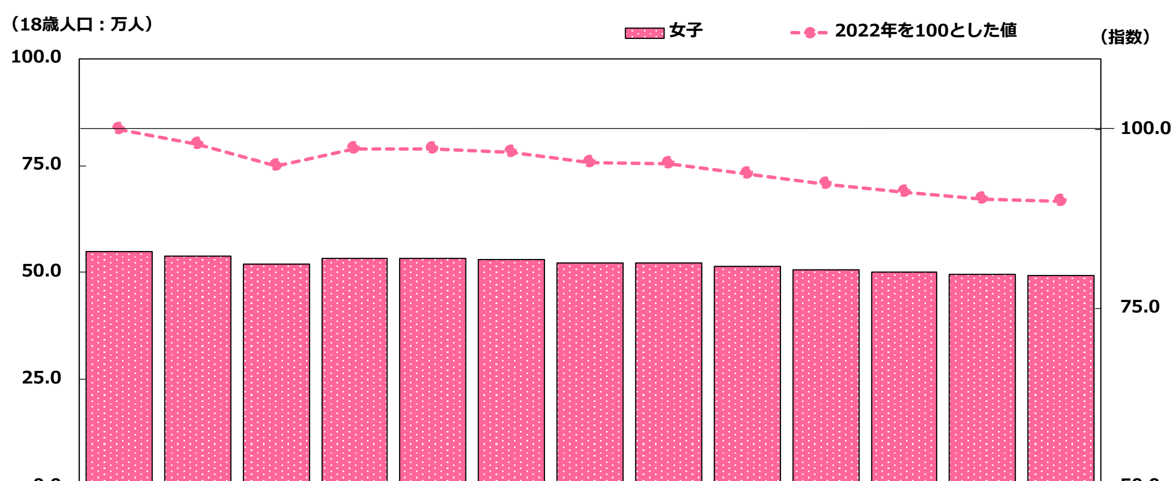
・2022年57.4万人から2034年51.3万人、12年間で6.1万人減少。
・2025年、2026年で増加に転じるが、2027年から再び減少傾向となり2034年までに4.1万人減少している。

女子

・2022年54.8万人から2034年49.3万人、12年間で5.5万人減少。
・男子と同様2025年増加に転じ、2027年までほぼ横ばいが続くが、2028年から2034年にかけて2.9万人減少している。



		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
男子	人数（万人）	57.4	56.1	54.4	55.7	56.0	55.4	54.6	54.8	53.6	52.9	52.3	51.9	51.3
	指数	100.0	97.7	94.8	97.2	97.6	96.5	95.2	95.5	93.5	92.2	91.2	90.5	89.5



		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
女子	人数（万人）	54.8	53.7	51.9	53.3	53.3	53.1	52.2	52.1	51.4	50.6	50.0	49.5	49.3
	指数	100.0	98.0	94.9	97.3	97.3	96.9	95.4	95.2	93.8	92.3	91.3	90.3	89.9

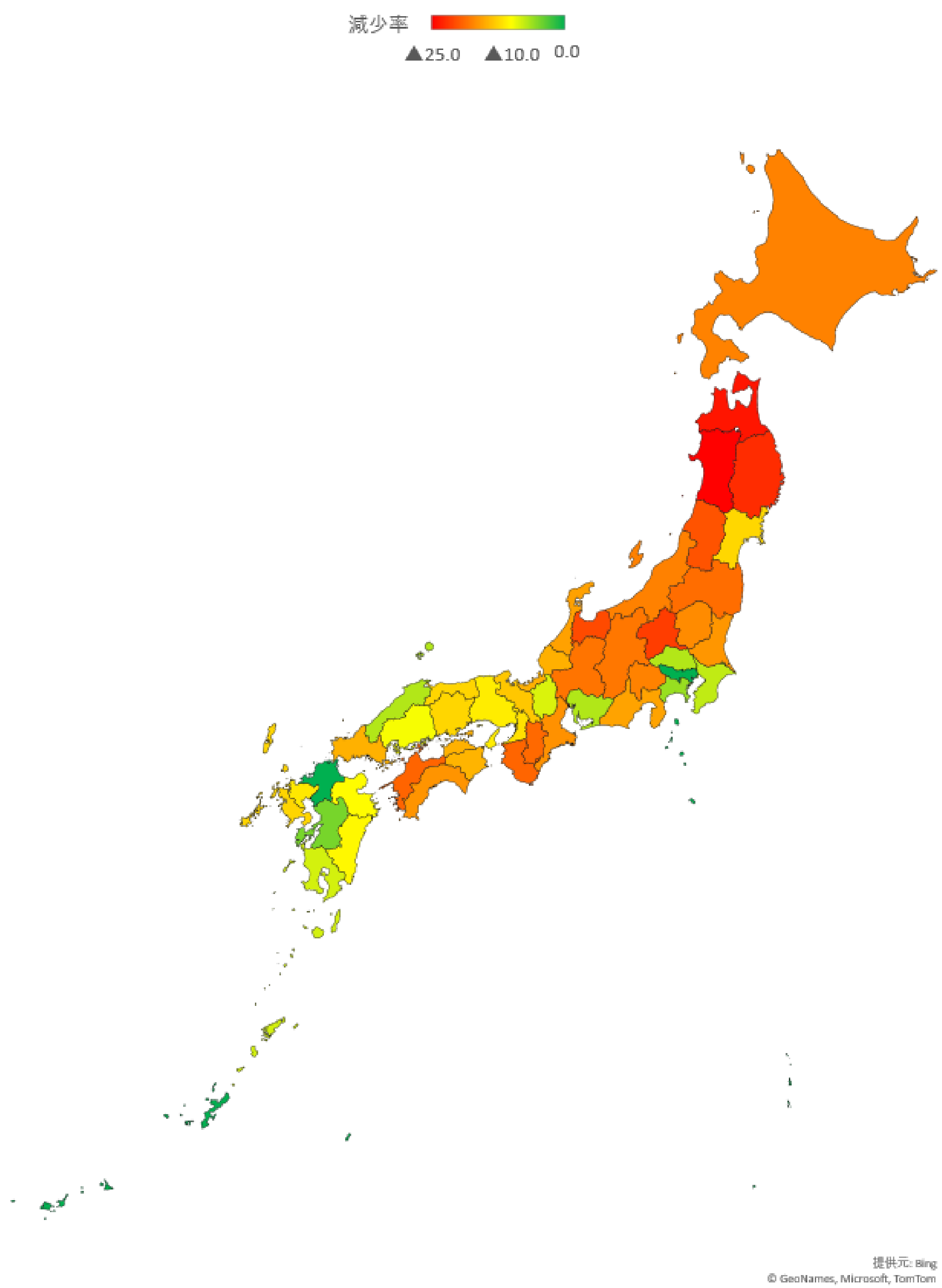
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口予測（全体：都道府県別：2022→2034年）

■東北の減少率が高く、6県中4県で減少率20%以上
沖縄・東京・福岡の3県のみ増加する見込み

■都道府県別　18歳人口減少率　（2022年－2034年）

	全国	▲10.3
-20.0以下	秋田	▲24.9
	青森	▲23.7
	岩手	▲22.4
	群馬	▲21.4
	富山	▲20.6
	山形	▲20.1
-15.0以下	愛媛	▲19.1
	和歌山	▲19.1
	奈良	▲18.8
	福島	▲18.6
	岐阜	▲18.2
	長野	▲18.0
	新潟	▲17.4
	山梨	▲17.4
	北海道	▲17.3
	栃木	▲16.8
	三重	▲16.5
	高知	▲16.3
	茨城	▲16.2
	石川	▲15.5
	静岡	▲15.4
-10.0以下	福井	▲14.7
	香川	▲14.6
	山口	▲14.6
	徳島	▲14.4
	京都	▲13.3
	長崎	▲12.5
	鳥取	▲12.5
	岡山	▲12.4
	宮城	▲12.4
	大阪	▲11.8
	佐賀	▲11.3
	兵庫	▲11.1
	宮崎	▲10.4
	大分	▲10.1
- 5.0以下	広島	▲ 9.7
	滋賀	▲ 8.5
	鹿児島	▲ 8.3
	千葉	▲ 7.5
	埼玉	▲ 7.0
	島根	▲ 7.0
	愛知	▲ 6.9
	神奈川	▲ 5.9
0.0以下	熊本	▲ 4.6
0.0超	福岡	0.2
	東京	2.6
	沖縄	5.3



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口予測（全体：エリア別：2022～2034年）

■減少率が高いのは東北（2022年比80.9%）、減少数が大きいのは近畿（22,958人減）

・減少率が高いのは、1位 東北（2022年比80.9%）、2位 北関東（82.1%）、3位 甲信越（82.4%）。

・減少数が大きいのは、1位 近畿（22,958人減）、2位 東海（16,427人減）、3位 東北（14,899人減）。

・減少率が低いのは、1位 南関東（96.5%）、2位 九州沖縄（95.8%）、3位 中国（88.7%）。

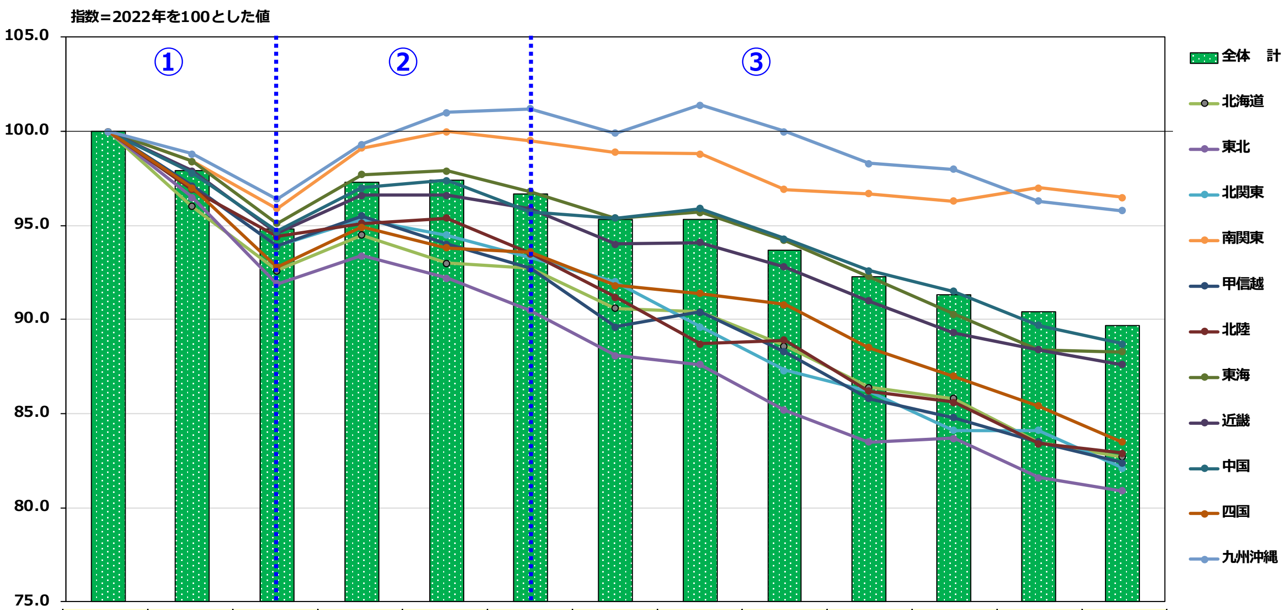
・エリア別の18歳人口は、以下の3段階を経て減少する。

① 2022～2024年：全国では約6万人減少、エリアも含め減少傾向になる時期

② 2024～2027年：全国で約3万人増加、人口が回復し、横ばいが続く時期

③ 2027～2034年：回復後さらに減少する時期

注）減少率＝2034年人数÷2022年人数で算出。



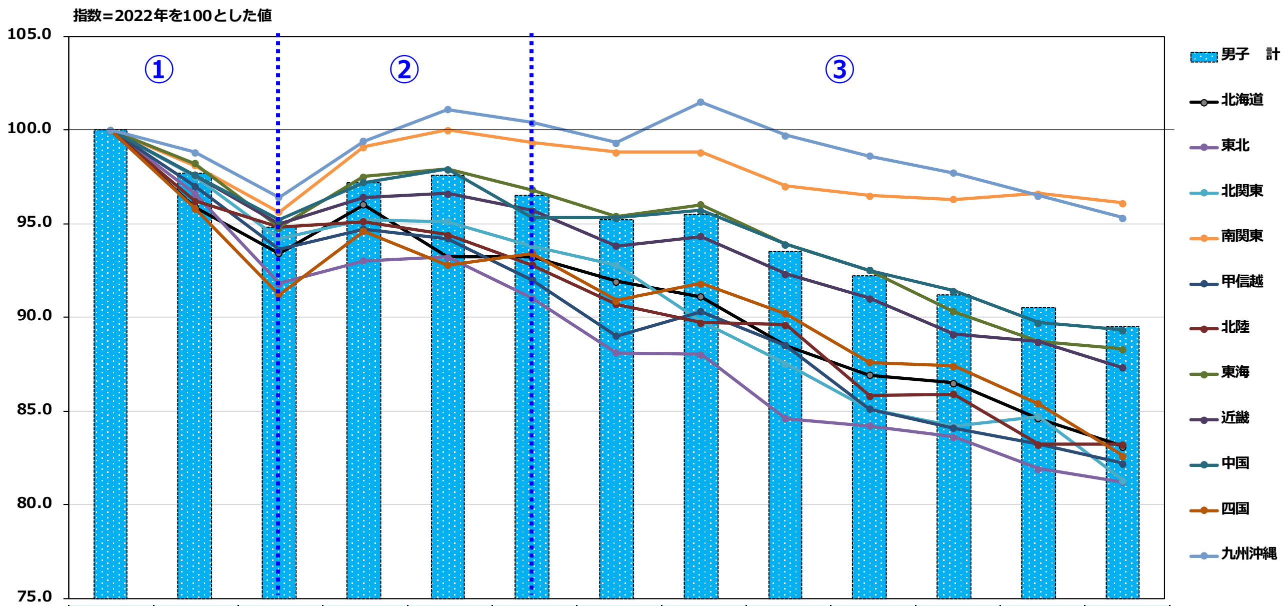
		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
全体　計	人数	1,121,285	1,097,416	1,063,451	1,090,562	1,092,647	1,084,271	1,068,477	1,068,876	1,050,143	1,034,714	1,023,592	1,013,581	1,005,782
	指数	100.0	97.9	94.8	97.3	97.4	96.7	95.3	95.3	93.7	92.3	91.3	90.4	89.7
北海道	人数	44,276	42,489	41,008	41,857	41,166	41,045	40,121	40,037	39,230	38,255	37,984	36,989	36,601
	指数	100.0	96.0	92.6	94.5	93.0	92.7	90.6	90.4	88.6	86.4	85.8	83.5	82.7
東北	人数	78,146	75,379	71,820	73,013	72,013	70,749	68,816	68,461	66,576	65,266	65,444	63,794	63,247
	指数	100.0	96.5	91.9	93.4	92.2	90.5	88.1	87.6	85.2	83.5	83.7	81.6	80.9
北関東	人数	63,720	61,863	59,826	60,700	60,209	59,436	58,597	57,094	55,597	54,919	53,598	53,611	52,331
	指数	100.0	97.1	93.9	95.3	94.5	93.3	92.0	89.6	87.3	86.2	84.1	84.1	82.1
南関東	人数	299,356	294,497	287,188	296,737	299,307	297,845	296,090	295,868	290,004	289,532	288,232	290,267	288,970
	指数	100.0	98.4	95.9	99.1	100.0	99.5	98.9	98.8	96.9	96.7	96.3	97.0	96.5
甲信越	人数	46,907	45,536	44,069	44,788	44,075	43,470	42,033	42,422	41,416	40,263	39,768	39,150	38,628
	指数	100.0	97.1	93.9	95.5	94.0	92.7	89.6	90.4	88.3	85.8	84.8	83.5	82.4
北陸	人数	27,545	26,692	26,002	26,197	26,268	25,761	25,131	24,428	24,501	23,757	23,588	22,974	22,842
	指数	100.0	96.9	94.4	95.1	95.4	93.5	91.2	88.7	88.9	86.2	85.6	83.4	82.9
東海	人数	140,510	138,309	133,555	137,302	137,529	136,069	134,013	134,491	132,337	129,727	126,930	124,204	124,083
	指数	100.0	98.4	95.1	97.7	97.9	96.8	95.4	95.7	94.2	92.3	90.3	88.4	88.3
近畿	人数	185,626	181,639	175,609	179,388	179,313	178,046	174,431	174,633	172,217	168,955	165,722	164,183	162,668
	指数	100.0	97.9	94.6	96.6	96.6	95.9	94.0	94.1	92.8	91.0	89.3	88.4	87.6
中国	人数	66,821	65,318	63,279	64,828	65,075	63,981	63,747	64,054	62,988	61,849	61,110	59,931	59,298
	指数	100.0	97.8	94.7	97.0	97.4	95.7	95.4	95.9	94.3	92.6	91.5	89.7	88.7
四国	人数	33,841	32,825	31,419	32,132	31,757	31,685	31,073	30,944	30,731	29,957	29,437	28,906	28,242
	指数	100.0	97.0	92.8	94.9	93.8	93.6	91.8	91.4	90.8	88.5	87.0	85.4	83.5
九州沖縄	人数	134,537	132,869	129,676	133,620	135,935	136,184	134,425	136,444	134,546	132,234	131,779	129,572	128,872
	指数	100.0	98.8	96.4	99.3	101.0	101.2	99.9	101.4	100.0	98.3	98.0	96.3	95.8

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

■減少率が高いのは東北（2022年比81.2%）、減少数が大きいのは近畿（12,076人減）

- 減少率が高いのは、1位 東北（2022年比81.2%）、2位 北関東（81.3%） 、3位 甲信越（82.2%）。
- 減少数が大きいのは、1位 近畿（12,076人減） 、2位 東海（8,386人減） 、3位 東北（7,509人減） 。
- 減少率が低いのは、1位 南関東 （96.1%） 、2位 九州沖縄（95.3%）、3位 中国（89.3%） 。
- ③期において2028~2034年の男子人口は、北海道（1,994人減）、東北（2,765人減） 、北関東（3,727人減）、南関東 （4,214人減）、甲信越（1,630人減） 、北陸（1,064人減） 、東海（5,097人減）近畿（6,225人減）、中国（2,056人減）、四国（1,447人減）、九州沖縄（2,764人減）。

注）減少率＝2034年人数÷2022年人数で算出。



		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
男子　計	人数	573,645	560,512	543,958	557,468	559,645	553,618	546,175	547,736	536,306	528,975	523,331	518,983	513,192
	指数	100.0	97.7	94.8	97.2	97.6	96.5	95.2	95.5	93.5	92.2	91.2	90.5	89.5
北海道	人数	22,459	21,543	20,967	21,552	20,939	20,923	20,648	20,456	19,871	19,510	19,433	19,002	18,654
	指数	100.0	95.9	93.4	96.0	93.2	93.2	91.9	91.1	88.5	86.9	86.5	84.6	83.1
東北	人数	39,863	38,506	36,608	37,070	37,160	36,256	35,119	35,067	33,740	33,546	33,319	32,649	32,354
	指数	100.0	96.6	91.8	93.0	93.2	91.0	88.1	88.0	84.6	84.2	83.6	81.9	81.2
北関東	人数	32,586	31,764	30,693	31,034	30,976	30,579	30,228	29,256	28,504	27,739	27,432	27,610	26,501
	指数	100.0	97.5	94.2	95.2	95.1	93.8	92.8	89.8	87.5	85.1	84.2	84.7	81.3
南関東	人数	153,337	150,412	146,623	151,953	153,283	152,252	151,535	151,503	148,719	147,917	147,620	148,119	147,321
	指数	100.0	98.1	95.6	99.1	100.0	99.3	98.8	98.8	97.0	96.5	96.3	96.6	96.1
甲信越	人数	24,075	23,352	22,536	22,792	22,672	22,144	21,422	21,730	21,296	20,481	20,250	20,030	19,792
	指数	100.0	97.0	93.6	94.7	94.2	92.0	89.0	90.3	88.5	85.1	84.1	83.2	82.2
北陸	人数	14,101	13,561	13,369	13,405	13,317	13,090	12,795	12,647	12,640	12,094	12,113	11,727	11,731
	指数	100.0	96.2	94.8	95.1	94.4	92.8	90.7	89.7	89.6	85.8	85.9	83.2	83.2
東海	人数	71,901	70,626	68,190	70,079	70,414	69,589	68,612	69,029	67,521	66,544	64,908	63,745	63,515
	指数	100.0	98.2	94.8	97.5	97.9	96.8	95.4	96.0	93.9	92.5	90.3	88.7	88.3
近畿	人数	94,884	92,654	90,181	91,481	91,685	90,786	89,033	89,490	87,565	86,371	84,498	84,146	82,808
	指数	100.0	97.6	95.0	96.4	96.6	95.7	93.8	94.3	92.3	91.0	89.1	88.7	87.3
中国	人数	34,190	33,377	32,549	33,220	33,460	32,595	32,586	32,714	32,109	31,612	31,261	30,675	30,530
	指数	100.0	97.6	95.2	97.2	97.9	95.3	95.3	95.7	93.9	92.5	91.4	89.7	89.3
四国	人数	17,402	16,673	15,870	16,454	16,155	16,260	15,825	15,978	15,699	15,248	15,203	14,870	14,378
	指数	100.0	95.8	91.2	94.6	92.8	93.4	90.9	91.8	90.2	87.6	87.4	85.4	82.6
九州沖縄	人数	68,847	68,044	66,372	68,428	69,584	69,144	68,372	69,866	68,642	67,913	67,294	66,410	65,608
	指数	100.0	98.8	96.4	99.4	101.1	100.4	99.3	101.5	99.7	98.6	97.7	96.5	95.3

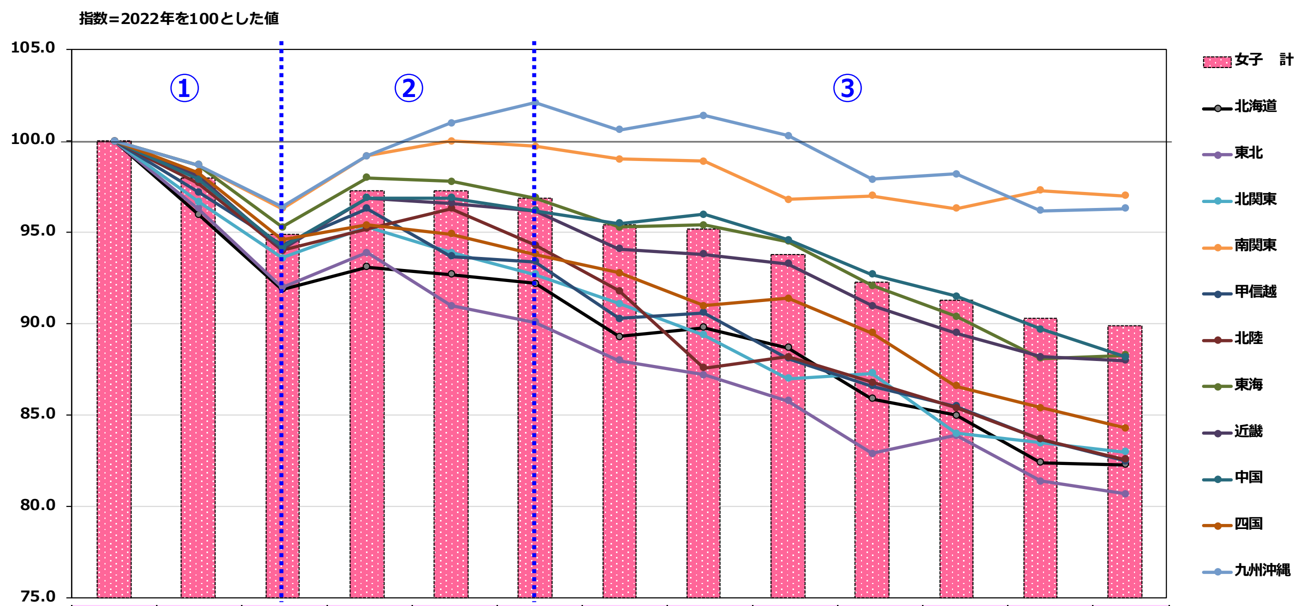
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口予測（女子：エリア別：2022～2034年）

■減少率が高いのは東北 （2022年比80.7%） 、減少数が大きいのは近畿 (10,882人減）

・減少率が高いのは、1位 東北（2022年比80.7%）、2位 北海道（82.3%）、3位 甲信越 （82.5%）。
・減少数が大きいのは、1位 近畿（10,882人減）、2位 東海（8,041人減） 、3位 東北 （7,390人減）。
・減少率が低いのは、1位 南関東（97.0%） 、2位 九州沖縄（96.3%） 、3位 東海（88.3%）。
・③期において2028年~2034年の女子人口は、北海道（1,526人減）、東北（2,804人減） 、
北関東（2,539人減）、南関東（2,906人減）、甲信越（1,775人減） 、北陸（1,225人減） 、東海（4,833人減）、
近畿（5,538人減）、中国（2,393人減）、四国（1,384人減）、九州沖縄（2,789人減）。

注）減少率＝2034年人数÷2022年人数で算出。



		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
女子　計	人数	547,640	536,904	519,493	533,094	533,002	530,653	522,302	521,140	513,837	505,739	500,261	494,598	492,590
	指数	100.0	98.0	94.9	97.3	97.3	96.9	95.4	95.2	93.8	92.3	91.3	90.3	89.9
北海道	人数	21,817	20,946	20,041	20,305	20,227	20,122	19,473	19,581	19,359	18,745	18,551	17,987	17,947
	指数	100.0	96.0	91.9	93.1	92.7	92.2	89.3	89.8	88.7	85.9	85.0	82.4	82.3
東北	人数	38,283	36,873	35,212	35,943	34,853	34,493	33,697	33,394	32,836	31,720	32,125	31,145	30,893
	指数	100.0	96.3	92.0	93.9	91.0	90.1	88.0	87.2	85.8	82.9	83.9	81.4	80.7
北関東	人数	31,134	30,099	29,133	29,666	29,233	28,857	28,369	27,838	27,093	27,180	26,166	26,001	25,830
	指数	100.0	96.7	93.6	95.3	93.9	92.7	91.1	89.4	87.0	87.3	84.0	83.5	83.0
南関東	人数	146,019	144,085	140,565	144,784	146,024	145,593	144,555	144,365	141,285	141,615	140,612	142,148	141,649
	指数	100.0	98.7	96.3	99.2	100.0	99.7	99.0	98.9	96.8	97.0	96.3	97.3	97.0
甲信越	人数	22,832	22,184	21,533	21,996	21,403	21,326	20,611	20,692	20,120	19,782	19,518	19,120	18,836
	指数	100.0	97.2	94.3	96.3	93.7	93.4	90.3	90.6	88.1	86.6	85.5	83.7	82.5
北陸	人数	13,444	13,131	12,633	12,792	12,951	12,671	12,336	11,781	11,861	11,663	11,475	11,247	11,111
	指数	100.0	97.7	94.0	95.2	96.3	94.3	91.8	87.6	88.2	86.8	85.4	83.7	82.6
東海	人数	68,609	67,683	65,365	67,223	67,115	66,480	65,401	65,462	64,816	63,183	62,022	60,459	60,568
	指数	100.0	98.7	95.3	98.0	97.8	96.9	95.3	95.4	94.5	92.1	90.4	88.1	88.3
近畿	人数	90,742	88,985	85,428	87,907	87,628	87,260	85,398	85,143	84,652	82,584	81,224	80,037	79,860
	指数	100.0	98.1	94.1	96.9	96.6	96.2	94.1	93.8	93.3	91.0	89.5	88.2	88.0
中国	人数	32,631	31,941	30,730	31,608	31,615	31,386	31,161	31,340	30,879	30,237	29,849	29,256	28,768
	指数	100.0	97.9	94.2	96.9	96.9	96.2	95.5	96.0	94.6	92.7	91.5	89.7	88.2
四国	人数	16,439	16,152	15,549	15,678	15,602	15,425	15,248	14,966	15,032	14,709	14,234	14,036	13,864
	指数	100.0	98.3	94.6	95.4	94.9	93.8	92.8	91.0	91.4	89.5	86.6	85.4	84.3
九州沖縄	人数	65,690	64,825	63,304	65,192	66,351	67,040	66,053	66,578	65,904	64,321	64,485	63,162	63,264
	指数	100.0	98.7	96.4	99.2	101.0	102.1	100.6	101.4	100.3	97.9	98.2	96.2	96.3

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

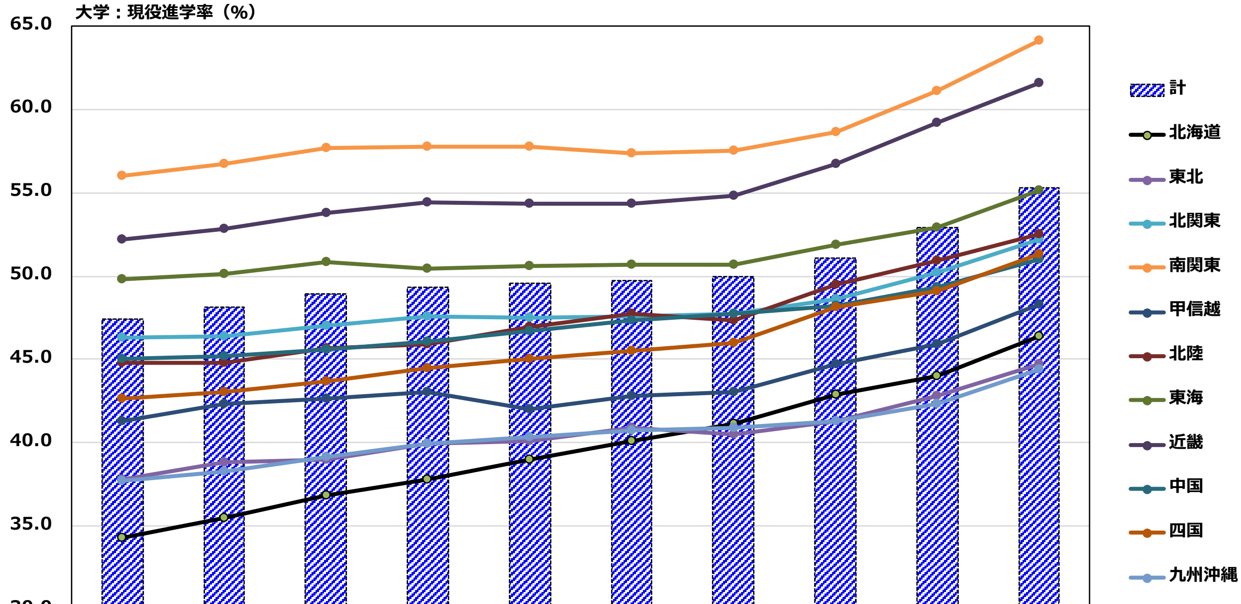
大学進学率の推移（現役：エリア別：2013～2022年）

■2013年47.4%→2022年55.3%（7.9ポイント上昇）

・全体の大学進学率は2013年47.4%→2022年55.3%と、10年間で7.9ポイント上昇。
2019年から50%台の進学率となり、2022年には55%を超えた。
2016～2018年の3年間は横ばいのトレンド（49.3%→49.7%）。

・上昇が大きいのは、1位 北海道（135.3）、2位 四国（120.4）、3位 東北（118.3）。※注
・上昇が小さいのは、1位 東海（110.6）、2位 北関東（112.7）、3位 中国（113.3）。※注
・2022年進学率が高いのは、1位 南関東（64.1%）、2位 近畿（61.6%）、3位 東海（55.1%）。

※注（）内は指数＝2013年を100として算出



		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
計	進学率	47.4	48.1	48.9	49.3	49.6	49.7	50.0	51.1	52.9	55.3
	指数	100.0	101.5	103.2	104.0	104.6	104.9	105.5	107.8	111.6	116.7
北海道	進学率	34.3	35.5	36.8	37.8	39.0	40.1	41.1	42.9	44.0	46.4
	指数	100.0	103.5	107.3	110.2	113.7	116.9	119.8	125.1	128.3	135.3
東北	進学率	37.8	38.8	39.0	39.9	40.1	40.9	40.5	41.3	42.8	44.7
	指数	100.0	102.6	103.2	105.6	106.1	108.2	107.1	109.3	113.2	118.3
北関東	進学率	46.3	46.4	47.0	47.6	47.5	47.6	47.7	48.6	50.2	52.2
	指数	100.0	100.2	101.5	102.8	102.6	102.8	103.0	105.0	108.4	112.7
南関東	進学率	56.0	56.7	57.7	57.8	57.8	57.4	57.5	58.6	61.1	64.1
	指数	100.0	101.3	103.0	103.2	103.2	102.5	102.7	104.6	109.1	114.5
甲信越	進学率	41.3	42.3	42.6	43.0	42.0	42.8	43.0	44.7	45.9	48.3
	指数	100.0	102.4	103.1	104.1	101.7	103.6	104.1	108.2	111.1	116.9
北陸	進学率	44.8	44.8	45.7	45.9	46.9	47.7	47.3	49.5	50.9	52.5
	指数	100.0	100.0	102.0	102.5	104.7	106.5	105.6	110.5	113.6	117.2
東海	進学率	49.8	50.1	50.8	50.4	50.6	50.7	50.7	51.9	52.9	55.1
	指数	100.0	100.6	102.0	101.2	101.6	101.8	101.8	104.2	106.2	110.6
近畿	進学率	52.2	52.8	53.8	54.4	54.3	54.3	54.8	56.7	59.2	61.6
	指数	100.0	101.1	103.1	104.2	104.0	104.0	105.0	108.6	113.4	118.0
中国	進学率	45.0	45.2	45.6	46.1	46.7	47.3	47.7	48.2	49.3	51.0
	指数	100.0	100.4	101.3	102.4	103.8	105.1	106.0	107.1	109.6	113.3
四国	進学率	42.6	43.0	43.7	44.5	45.0	45.5	46.0	48.1	49.1	51.3
	指数	100.0	100.9	102.6	104.5	105.6	106.8	108.0	112.9	115.3	120.4
九州沖縄	進学率	37.7	38.3	39.1	39.9	40.3	40.7	40.9	41.3	42.3	44.4
	指数	100.0	101.6	103.7	105.8	106.9	108.0	108.5	109.5	112.2	117.8

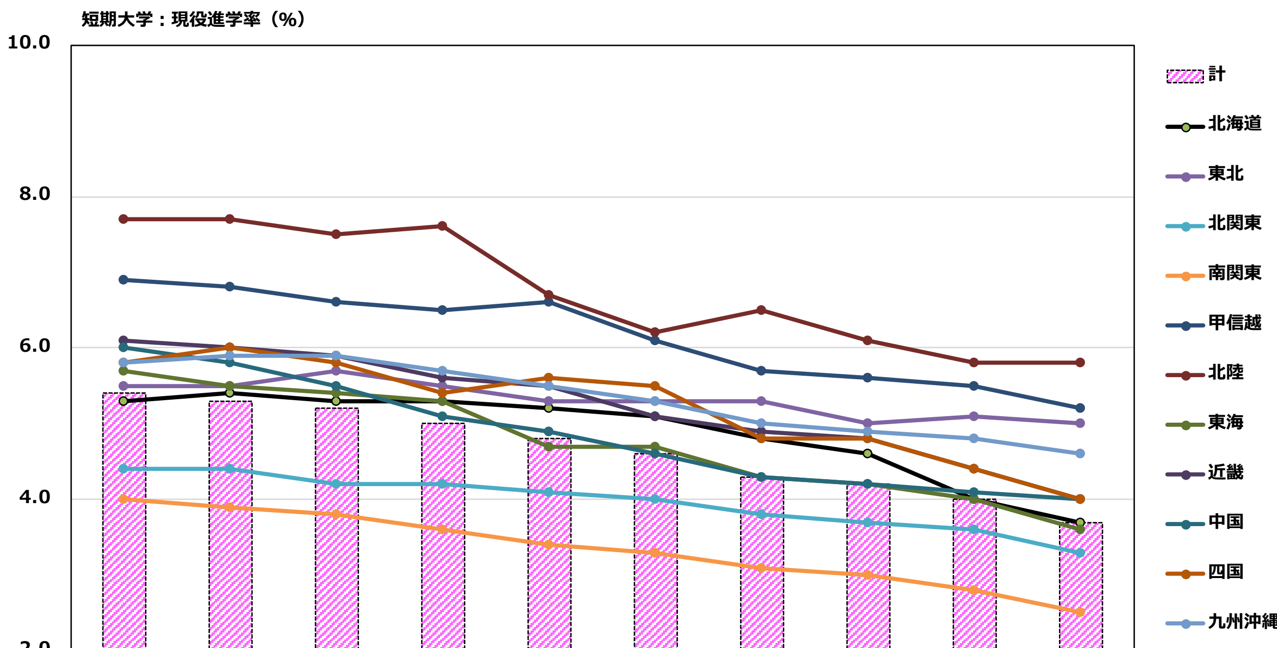
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

短期大学進学率の推移（現役：エリア別：2013～2022年）

■2013年5.4%→2022年3.7%（1.7ポイント低下）

・全体の短期大学進学率は2013年5.4%→2022年3.7%と、10年間で1.7ポイント低下。
・低下が大きいのは、1位 南関東（62.5）、2位 東海（63.2）、3位 近畿（65.6）。※注
・低下が小さいのは、1位 東北（90.9）、2位 九州沖縄（79.3）、3位 甲信越（75.4）。※注
・2022年進学率が高いのは、1位 北陸（5.8%）、2位 甲信越（5.2%）、3位 東北（5.0%）。

※注（）内は指数＝2013年を100として算出



		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
計	進学率	5.4	5.3	5.2	5.0	4.8	4.6	4.3	4.2	4.0	3.7
	指数	100.0	98.1	96.3	92.6	88.9	85.2	79.6	77.8	74.1	68.5
北海道	進学率	5.3	5.4	5.3	5.3	5.2	5.1	4.8	4.6	4.0	3.7
	指数	100.0	101.9	100.0	100.0	98.1	96.2	90.6	86.8	75.5	69.8
東北	進学率	5.5	5.5	5.7	5.5	5.3	5.3	5.3	5.0	5.1	5.0
	指数	100.0	100.0	103.6	100.0	96.4	96.4	96.4	90.9	92.7	90.9
北関東	進学率	4.4	4.4	4.2	4.2	4.1	4.0	3.8	3.7	3.6	3.3
	指数	100.0	100.0	95.5	95.5	93.2	90.9	86.4	84.1	81.8	75.0
南関東	進学率	4.0	3.9	3.8	3.6	3.4	3.3	3.1	3.0	2.8	2.5
	指数	100.0	97.5	95.0	90.0	85.0	82.5	77.5	75.0	70.0	62.5
甲信越	進学率	6.9	6.8	6.6	6.5	6.6	6.1	5.7	5.6	5.5	5.2
	指数	100.0	98.6	95.7	94.2	95.7	88.4	82.6	81.2	79.7	75.4
北陸	進学率	7.7	7.7	7.5	7.6	6.7	6.2	6.5	6.1	5.8	5.8
	指数	100.0	100.0	97.4	98.7	87.0	80.5	84.4	79.2	75.3	75.3
東海	進学率	5.7	5.5	5.4	5.3	4.7	4.7	4.3	4.2	4.0	3.6
	指数	100.0	96.5	94.7	93.0	82.5	82.5	75.4	73.7	70.2	63.2
近畿	進学率	6.1	6.0	5.9	5.6	5.5	5.1	4.9	4.8	4.4	4.0
	指数	100.0	98.4	96.7	91.8	90.2	83.6	80.3	78.7	72.1	65.6
中国	進学率	6.0	5.8	5.5	5.1	4.9	4.6	4.3	4.2	4.1	4.0
	指数	100.0	96.7	91.7	85.0	81.7	76.7	71.7	70.0	68.3	66.7
四国	進学率	5.8	6.0	5.8	5.4	5.6	5.5	4.8	4.8	4.4	4.0
	指数	100.0	103.4	100.0	93.1	96.6	94.8	82.8	82.8	75.9	69.0
九州沖縄	進学率	5.8	5.9	5.9	5.7	5.5	5.3	5.0	4.9	4.8	4.6
	指数	100.0	101.7	101.7	98.3	94.8	91.4	86.2	84.5	82.8	79.3

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

専門学校進学率の推移（現役：エリア別：2013～2022年）

■2013年17.0%→2022年16.7%（0.3ポイント低下）

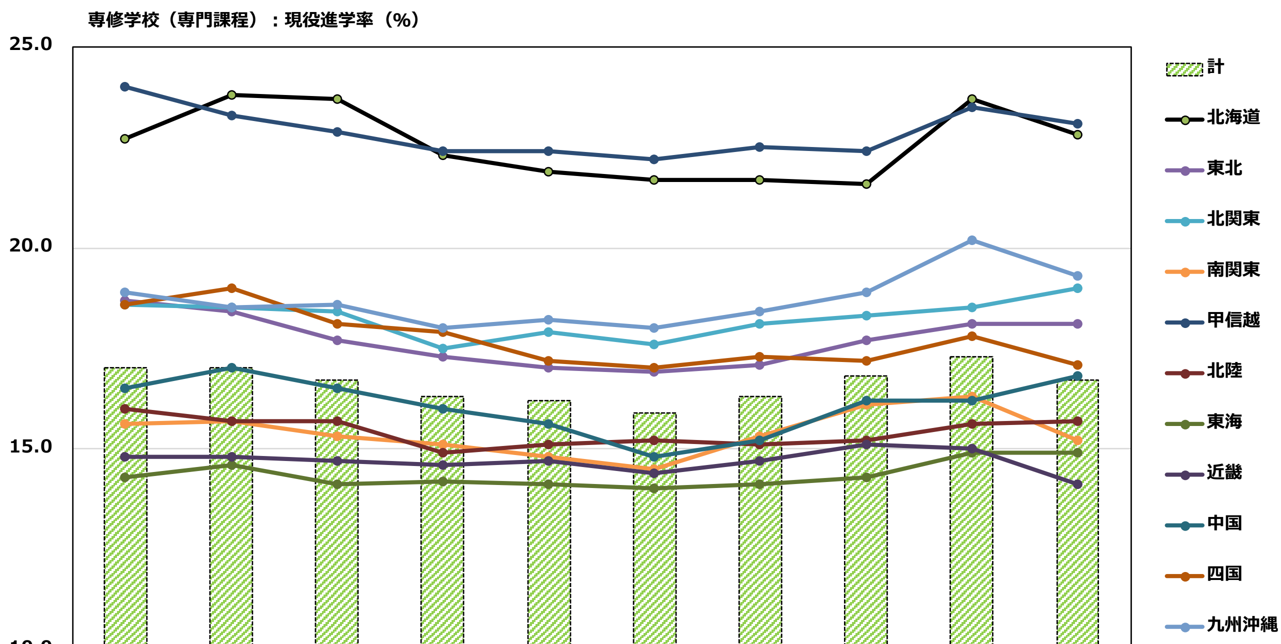
・全国の専門学校進学率は2013年17.0%→2022年16.7%と、10年間で0.3ポイント低下。
　上昇、低下を繰り返し、ほぼ横ばい。

・上昇が大きいのは、1位 東海（104.2）、2位 北関東（102.2）、3位 九州沖縄（102.1）。※注

・低下が大きいのは、1位 四国（91.9）、2位 近畿（95.3）、3位 甲信越（96.3）。※注

・2022年進学率が高いのは、1位 甲信越（23.1%）、2位 北海道（22.8%）、3位 九州沖縄（19.3%）。

※注（）内は指数＝2013年を100として算出



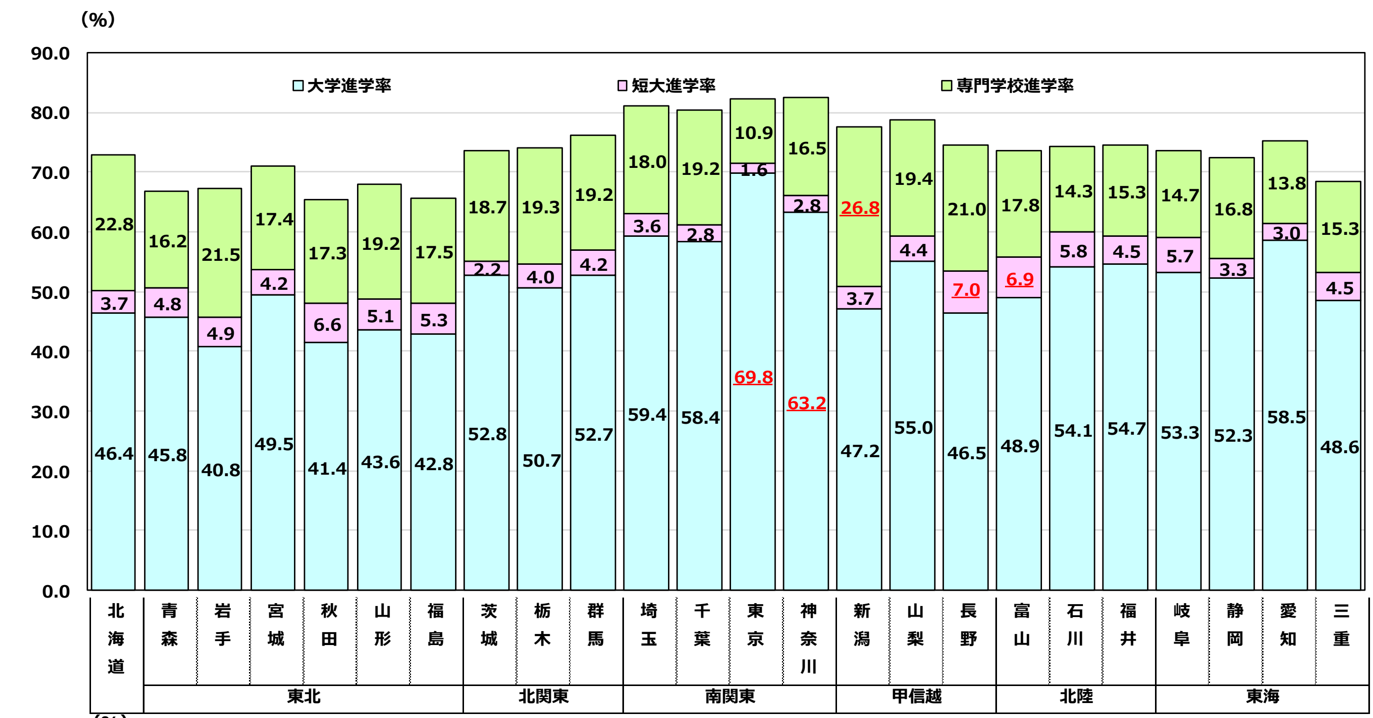
		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
計	進学率	17.0	17.0	16.7	16.3	16.2	15.9	16.3	16.8	17.3	16.7
	指数	100.0	100.0	98.2	95.9	95.3	93.5	95.9	98.8	101.8	98.2
北海道	進学率	22.7	23.8	23.7	22.3	21.9	21.7	21.7	21.6	23.7	22.8
	指数	100.0	104.8	104.4	98.2	96.5	95.6	95.6	95.2	104.4	100.4
東北	進学率	18.7	18.4	17.7	17.3	17.0	16.9	17.1	17.7	18.1	18.1
	指数	100.0	98.4	94.7	92.5	90.9	90.4	91.4	94.7	96.8	96.8
北関東	進学率	18.6	18.5	18.4	17.5	17.9	17.6	18.1	18.3	18.5	19.0
	指数	100.0	99.5	98.9	94.1	96.2	94.6	97.3	98.4	99.5	102.2
南関東	進学率	15.6	15.7	15.3	15.1	14.8	14.5	15.3	16.1	16.3	15.2
	指数	100.0	100.6	98.1	96.8	94.9	92.9	98.1	103.2	104.5	97.4
甲信越	進学率	24.0	23.3	22.9	22.4	22.4	22.2	22.5	22.4	23.5	23.1
	指数	100.0	97.1	95.4	93.3	93.3	92.5	93.8	93.3	97.9	96.3
北陸	進学率	16.0	15.7	15.7	14.9	15.1	15.2	15.1	15.2	15.6	15.7
	指数	100.0	98.1	98.1	93.1	94.4	95.0	94.4	95.0	97.5	98.1
東海	進学率	14.3	14.6	14.1	14.2	14.1	14.0	14.1	14.3	14.9	14.9
	指数	100.0	102.1	98.6	99.3	98.6	97.9	98.6	100.0	104.2	104.2
近畿	進学率	14.8	14.8	14.7	14.6	14.7	14.4	14.7	15.1	15.0	14.1
	指数	100.0	100.0	99.3	98.6	99.3	97.3	99.3	102.0	101.4	95.3
中国	進学率	16.5	17.0	16.5	16.0	15.6	14.8	15.2	16.2	16.2	16.8
	指数	100.0	103.0	100.0	97.0	94.5	89.7	92.1	98.2	98.2	101.8
四国	進学率	18.6	19.0	18.1	17.9	17.2	17.0	17.3	17.2	17.8	17.1
	指数	100.0	102.2	97.3	96.2	92.5	91.4	93.0	92.5	95.7	91.9
九州沖縄	進学率	18.9	18.5	18.6	18.0	18.2	18.0	18.4	18.9	20.2	19.3
	指数	100.0	97.9	98.4	95.2	96.3	95.2	97.4	100.0	106.9	102.1

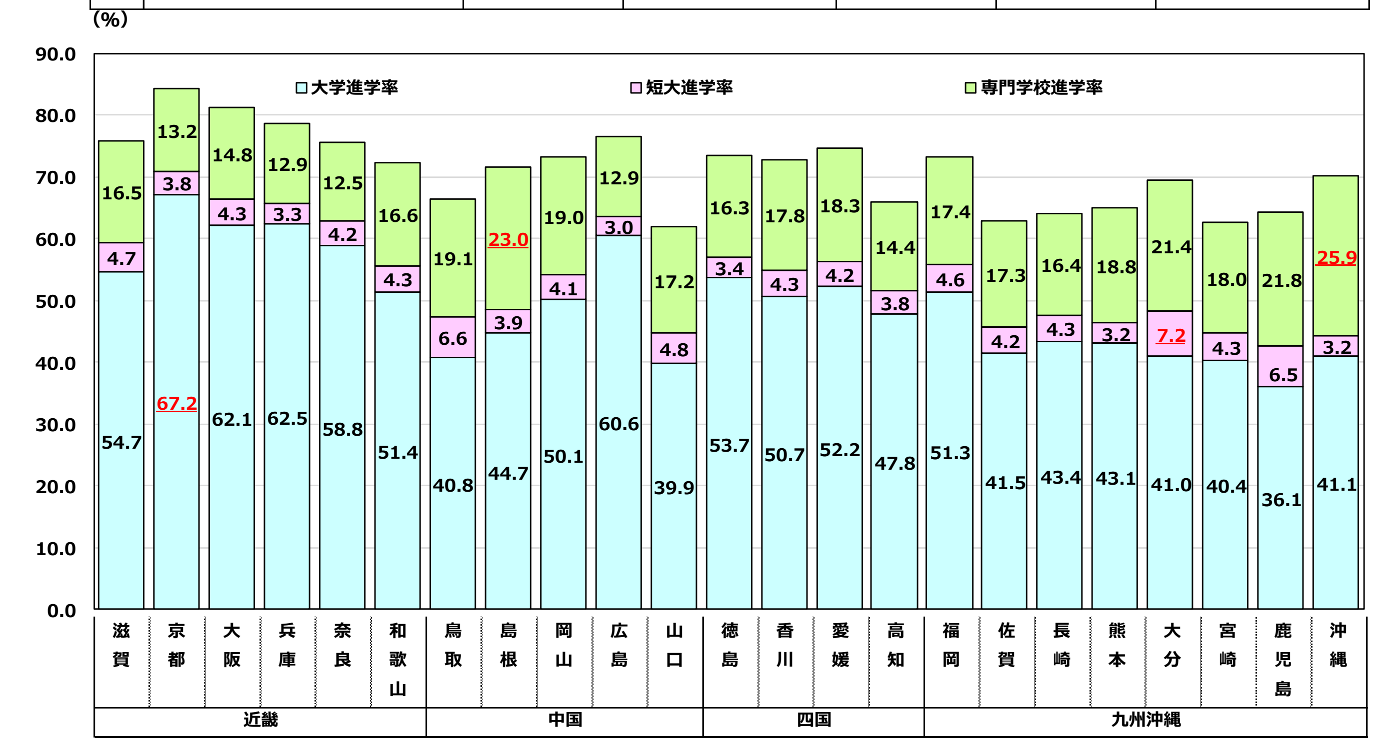
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

大学・短期大学・専門学校進学率（現役：都道府県別：2022年）

■大学進学率1位は東京、短期大学進学率1位は大分、専門学校進学率1位は新潟

大学進学率	1位：東京（69.8%）	2位：京都（67.2%）	3位：神奈川（63.2%）
短期大学進学率	1位：大分（7.2%）	2位：長野（7.0%）	3位：富山（6.9%）
専門学校進学率	1位：新潟（26.8%）	2位：沖縄（25.9%）	3位：島根（23.0%）





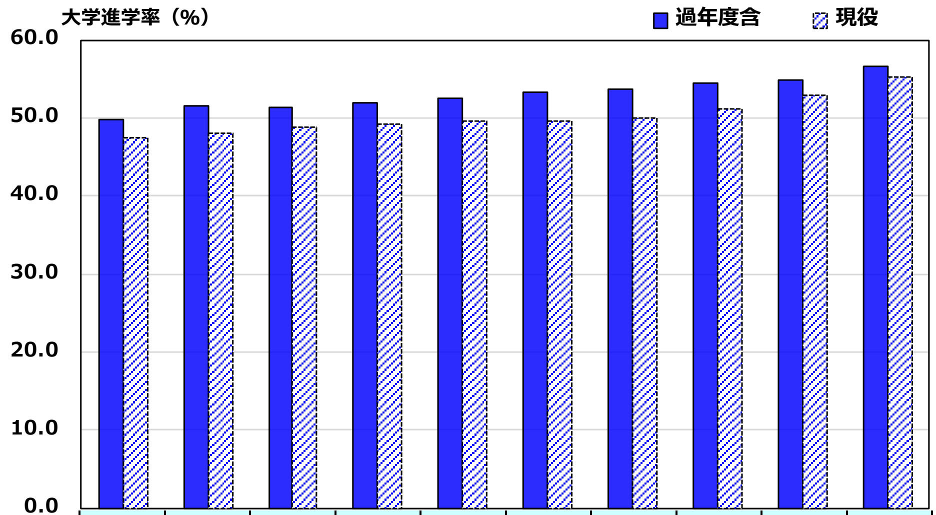
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

大学・短期大学・専門学校進学率（現役・過年度含 比較：全国：2013～2022年）

■2022年現役と過年度含の進学率の差は、大学は1.3ポイント（過年度含が高い）短期大学は差なし。

大学進学者

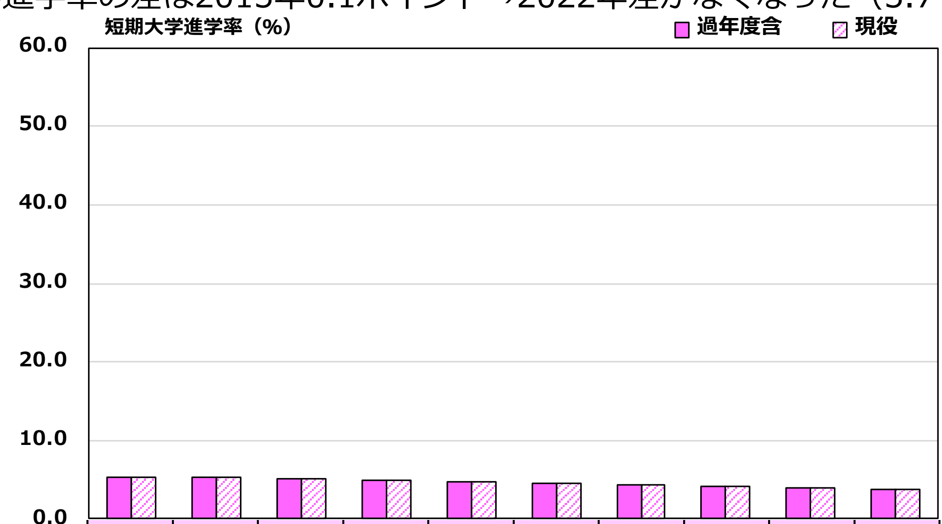
・現役の進学率は2013年49.9%→2022年56.6%（6.7ポイント上昇）。
　過年度含の進学率は2013年47.4%→2022年55.3%（7.9ポイント上昇）。
・過年度含と現役の進学率の差は2013年2.5ポイント→2022年1.3ポイントと縮小。



		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
大学	過年度含	49.9	51.5	51.5	52.0	52.6	53.3	53.7	54.4	54.9	56.6
	現役	47.4	48.1	48.9	49.3	49.6	49.7	50.0	51.1	52.9	55.3
	過年度-現役差	2.5	3.4	2.6	2.7	3.0	3.6	3.7	3.3	2.0	1.3

短期大学進学者

・現役の進学率は2013年5.3%→2022年3.7%（1.6ポイント低下）。
　過年度含の進学率は2013年5.4%→2022年3.7%（1.7ポイント低下）。
・過年度含と現役の進学率の差は2013年0.1ポイント→2022年差がなくなった（3.7%同率）。



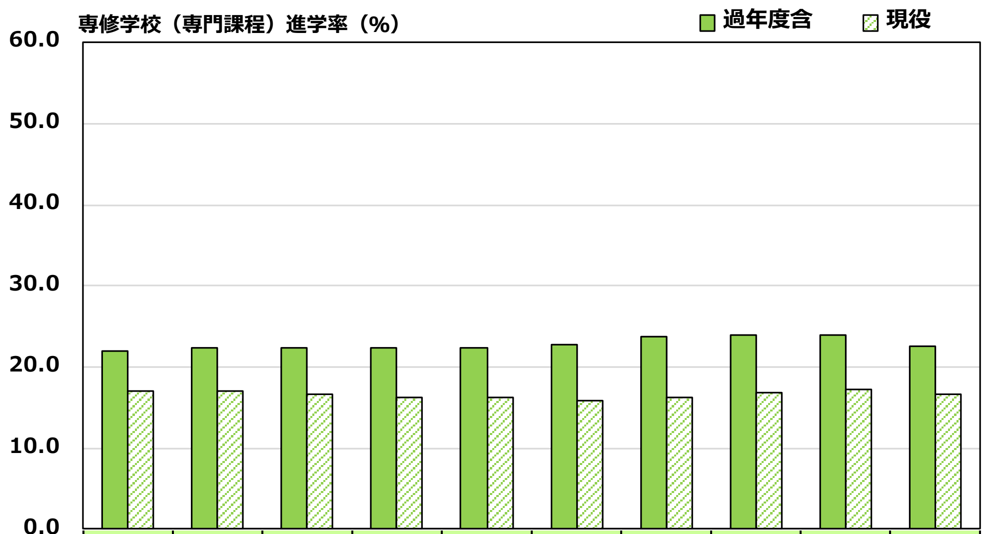
		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
短期大学	過年度含	5.3	5.2	5.1	4.9	4.7	4.6	4.4	4.2	4.0	3.7
	現役	5.4	5.3	5.2	5.0	4.8	4.6	4.3	4.2	4.0	3.7
	過年度-現役差	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

■専門学校で2022年現役と過年度含の進学率の差は、5.8ポイント（過年度含が高い）

専門学校進学者

・現役の進学率は2013年17.0%→2022年16.7%（0.3ポイント低下）。
　過年度含の進学率は2013年21.9%→2022年22.5%（0.6ポイント上昇）。
・過年度含と現役の進学率の差は2013年4.9ポイント→2022年5.8ポイントと拡大。



		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
専門学校	過年度含	21.9	22.4	22.4	22.3	22.4	22.7	23.8	24.0	24.0	22.5
	現役	17.0	17.0	16.7	16.3	16.2	15.9	16.3	16.8	17.3	16.7
	過年度-現役差	4.9	5.4	5.7	6.0	6.2	6.8	7.5	7.2	6.7	5.8

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

大学・短期大学・専門学校進学率（現役：都道府県別：2022年）

（参考）大学・短期大学・専門学校進学率ランキング

大学			短期大学			専門学校		
1	東京	69.8	1	大分	7.2	1	新潟	26.8
2	京都	67.2	2	長野	7.0	2	沖縄	25.9
3	神奈川	63.2	3	富山	6.9	3	島根	23.0
4	兵庫	62.5	4	秋田	6.6	4	北海道	22.8
5	大阪	62.1	4	鳥取	6.6	5	鹿児島	21.8
6	広島	60.6	6	鹿児島	6.5	6	岩手	21.5
7	埼玉	59.4	7	石川	5.8	7	大分	21.4
8	奈良	58.8	8	岐阜	5.7	8	長野	21.0
9	愛知	58.5	9	福島	5.3	9	山梨	19.4
10	千葉	58.4	10	山形	5.1	10	栃木	19.3
11	山梨	55.0	11	岩手	4.9	11	山形	19.2
12	福井	54.7	12	青森	4.8	11	群馬	19.2
12	滋賀	54.7	12	山口	4.8	11	千葉	19.2
14	石川	54.1	14	滋賀	4.7	14	鳥取	19.1
15	徳島	53.7	15	福岡	4.6	15	岡山	19.0
16	岐阜	53.3	16	福井	4.5	16	熊本	18.8
17	茨城	52.8	16	三重	4.5	17	茨城	18.7
18	群馬	52.7	18	山梨	4.4	18	愛媛	18.3
19	静岡	52.3	19	大阪	4.3	19	埼玉	18.0
20	愛媛	52.2	19	和歌山	4.3	19	宮崎	18.0
			19	香川	4.3			
			19	長崎	4.3			
			19	宮崎	4.3			

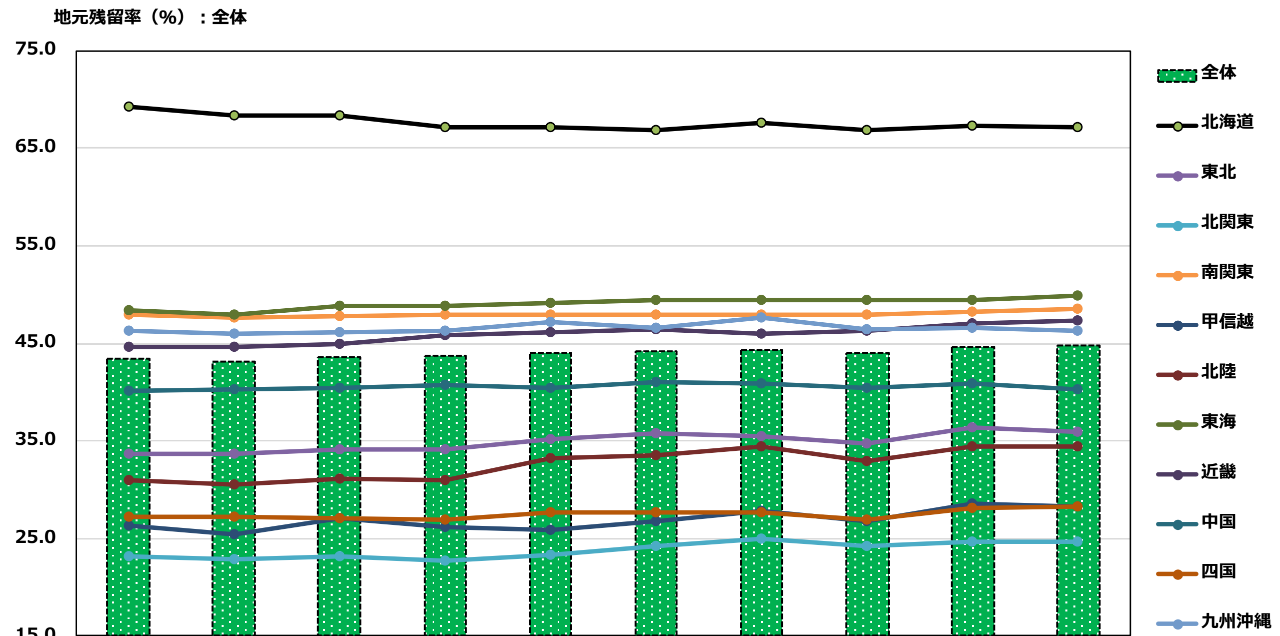
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率の推移（全体：大学入学者数：エリア別：2013～2022年）

■2013年43.4%→2022年44.8%（1.4ポイント上昇）

・全体で2013年43.4%→2022年44.8%と1.4ポイント上昇。
・2022年上昇が高いのは、1位 北陸（111.0）、2位 甲信越（107.6）、3位 東北（106.8）。※注
・2022年残留率が高いのは、1位 北海道（67.1%）、2位 東海（49.9%）、3位 南関東（48.5%）。
・2022年残留率が低いのは、1位 北関東（24.6%）、2位 甲信越・四国（28.3%）

※注（）内は指数＝2013年を100として算出



		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
全体	残留率	43.4	43.2	43.6	43.7	44.1	44.2	44.4	44.1	44.7	44.8
	指数	100.0	99.5	100.5	100.7	101.6	101.8	102.3	101.6	103.0	103.2
北海道	残留率	69.2	68.4	68.3	67.1	67.2	66.9	67.6	66.9	67.3	67.1
	指数	100.0	98.8	98.7	97.0	97.1	96.7	97.7	96.7	97.3	97.0
東北	残留率	33.7	33.6	34.1	34.1	35.2	35.7	35.5	34.7	36.4	36.0
	指数	100.0	99.7	101.2	101.2	104.5	105.9	105.3	103.0	108.0	106.8
北関東	残留率	23.1	22.8	23.2	22.7	23.3	24.2	25.0	24.2	24.7	24.6
	指数	100.0	98.7	100.4	98.3	100.9	104.8	108.2	104.8	106.9	106.5
南関東	残留率	47.9	47.7	47.8	47.9	48.0	47.9	47.9	48.0	48.2	48.5
	指数	100.0	99.6	99.8	100.0	100.2	100.0	100.0	100.2	100.6	101.3
甲信越	残留率	26.3	25.4	27.1	26.2	25.9	26.7	27.8	26.8	28.6	28.3
	指数	100.0	96.6	103.0	99.6	98.5	101.5	105.7	101.9	108.7	107.6
北陸	残留率	31.0	30.5	31.1	30.9	33.2	33.5	34.4	32.9	34.4	34.4
	指数	100.0	98.4	100.3	99.7	107.1	108.1	111.0	106.1	111.0	111.0
東海	残留率	48.4	48.0	48.9	48.9	49.2	49.5	49.5	49.4	49.5	49.9
	指数	100.0	99.2	101.0	101.0	101.7	102.3	102.3	102.1	102.3	103.1
近畿	残留率	44.6	44.7	45.0	45.8	46.1	46.4	46.0	46.3	47.0	47.3
	指数	100.0	100.2	100.9	102.7	103.4	104.0	103.1	103.8	105.4	106.1
中国	残留率	40.1	40.3	40.5	40.7	40.5	41.0	40.9	40.4	40.9	40.3
	指数	100.0	100.5	101.0	101.5	101.0	102.2	102.0	100.7	102.0	100.5
四国	残留率	27.2	27.2	27.1	26.9	27.7	27.6	27.6	26.9	28.1	28.3
	指数	100.0	100.0	99.6	98.9	101.8	101.5	101.5	98.9	103.3	104.0
九州沖縄	残留率	46.3	46.0	46.1	46.3	47.2	46.6	47.7	46.5	46.6	46.3
	指数	100.0	99.4	99.6	100.0	101.9	100.6	103.0	100.4	100.6	100.0

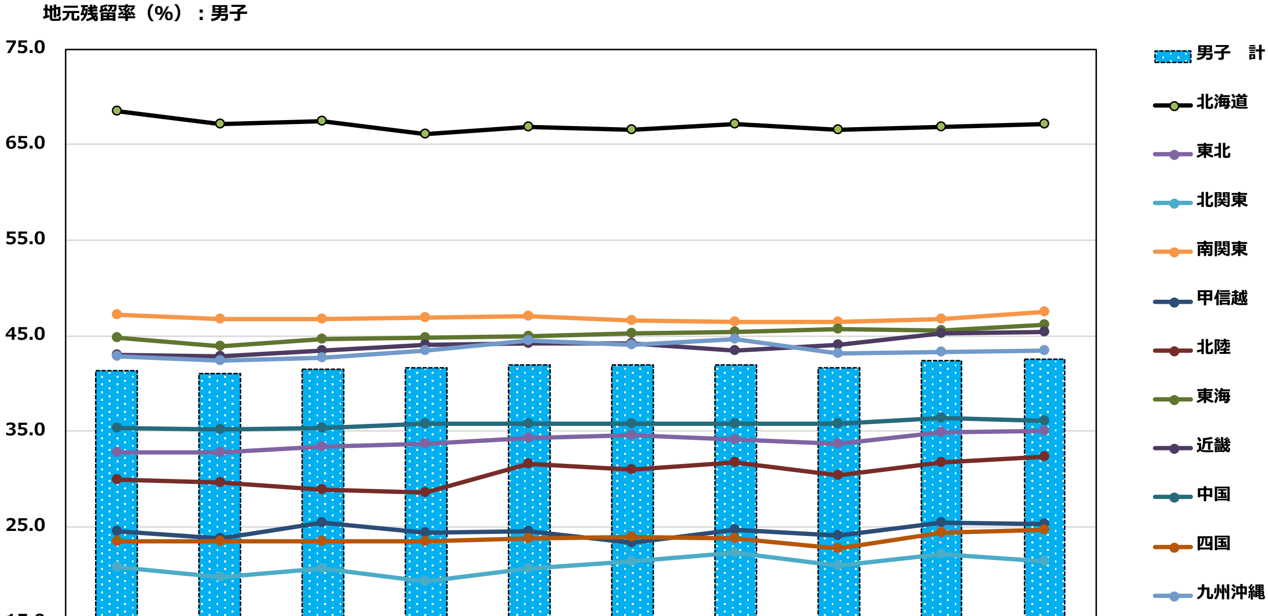
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率の推移（男子：大学入学者数：エリア別：2013～2022年）

■2013年41.4%→2022年42.6%（1.2ポイント上昇）

・男子は2013年41.4%→2021年42.6%と1.2ポイント上昇。
・2022年上昇が高いのは、1位 北陸（108.0）、2位 東北（107.0）、3位 近畿（105.6）。※注
・2022年残留率が高いのは、1位 北海道（67.1%）、2位 南関東（47.5%）、3位 東海（46.1%）。
・2022年残留率が低いのは、1位 北関東（21.4%）、2位 四国（24.6%）、3位 甲信越（25.2%）。

※注（）内は指数＝2013年を100として算出



		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
男子　計	残留率	41.4	41.0	41.5	41.6	42.0	41.9	41.9	41.7	42.4	42.6
	指数	100.0	99.0	100.2	100.5	101.4	101.2	101.2	100.7	102.4	102.9
北海道	残留率	68.5	67.1	67.5	66.1	66.8	66.6	67.1	66.5	66.8	67.1
	指数	100.0	98.0	98.5	96.5	97.5	97.2	98.0	97.1	97.5	98.0
東北	残留率	32.7	32.7	33.3	33.6	34.2	34.6	34.1	33.6	34.9	35.0
	指数	100.0	100.0	101.8	102.8	104.6	105.8	104.3	102.8	106.7	107.0
北関東	残留率	20.7	19.7	20.6	19.3	20.6	21.3	22.2	20.9	22.1	21.4
	指数	100.0	95.2	99.5	93.2	99.5	102.9	107.2	101.0	106.8	103.4
南関東	残留率	47.2	46.8	46.8	46.9	47.0	46.6	46.5	46.4	46.7	47.5
	指数	100.0	99.2	99.2	99.4	99.6	98.7	98.5	98.3	98.9	100.6
甲信越	残留率	24.5	23.7	25.4	24.3	24.5	23.3	24.7	24.1	25.4	25.2
	指数	100.0	96.7	103.7	99.2	100.0	95.1	100.8	98.4	103.7	102.9
北陸	残留率	29.9	29.6	28.8	28.6	31.5	31.0	31.7	30.3	31.7	32.3
	指数	100.0	99.0	96.3	95.7	105.4	103.7	106.0	101.3	106.0	108.0
東海	残留率	44.8	43.9	44.6	44.8	45.0	45.2	45.4	45.7	45.6	46.1
	指数	100.0	98.0	99.6	100.0	100.4	100.9	101.3	102.0	101.8	102.9
近畿	残留率	43.0	42.8	43.5	44.0	44.2	44.2	43.5	44.1	45.3	45.4
	指数	100.0	99.5	101.2	102.3	102.8	102.8	101.2	102.6	105.3	105.6
中国	残留率	35.3	35.2	35.3	35.7	35.7	35.8	35.7	35.7	36.4	36.1
	指数	100.0	99.7	100.0	101.1	101.1	101.4	101.1	101.1	103.1	102.3
四国	残留率	23.5	23.4	23.4	23.4	23.7	23.9	23.7	22.7	24.3	24.6
	指数	100.0	99.6	99.6	99.6	100.9	101.7	100.9	96.6	103.4	104.7
九州沖縄	残留率	42.9	42.4	42.7	43.4	44.5	44.0	44.6	43.2	43.3	43.5
	指数	100.0	98.8	99.5	101.2	103.7	102.6	104.0	100.7	100.9	101.4

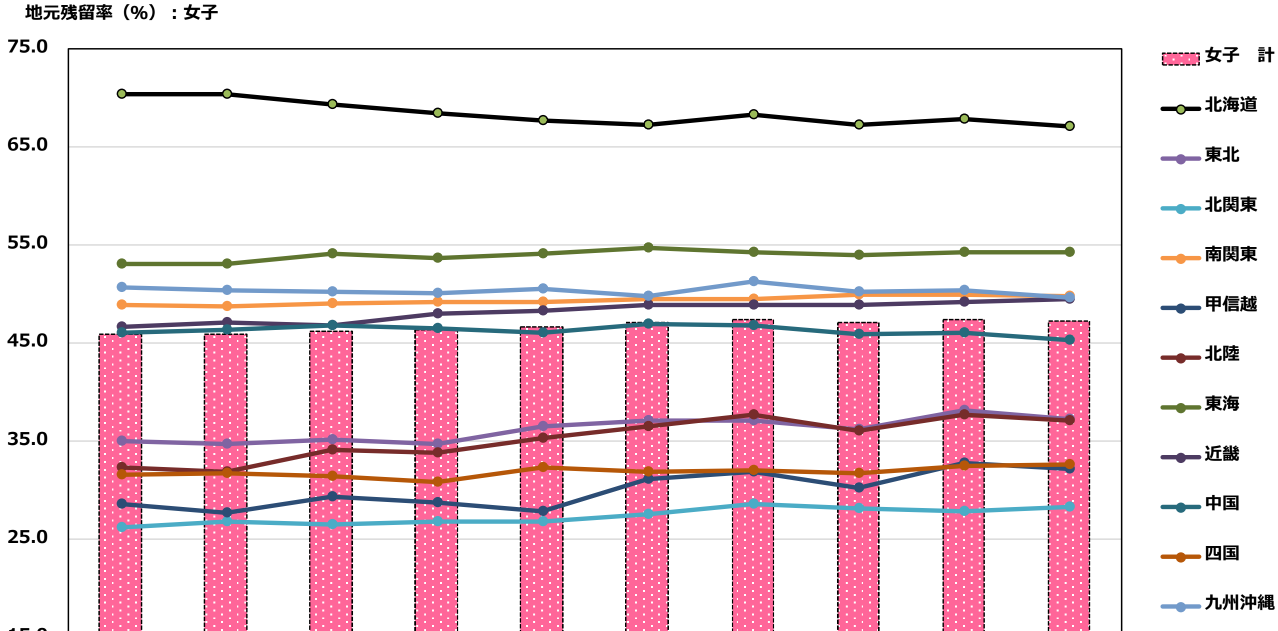
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率の推移（女子：大学入学者数：エリア別：2013～2022年）

■2013年45.8%→2022年47.2%（1.4ポイント上昇）

・女子は2013年45.8%→2022年47.2%と1.4ポイント上昇。
・2022年上昇が高いのは、1位 北陸（114.9）、2位 甲信越（112.6）、3位 北関東（108.4）。※注
・2022年残留率が高いのは、1位 北海道（67.1%）、2位 東海（54.2%）、3位 南関東（49.8%）。
・2022年残留率が低いのは、1位 北関東（28.3%）、2位 甲信越（32.1%）、3位 四国（32.5%）。

※注（）内は指数＝2013年を100として算出



		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
女子　計	残留率	45.8	45.9	46.2	46.3	46.6	47.0	47.3	47.0	47.4	47.2
	指数	100.0	100.2	100.9	101.1	101.7	102.6	103.3	102.6	103.5	103.1
北海道	残留率	70.3	70.3	69.3	68.4	67.7	67.3	68.3	67.3	67.9	67.1
	指数	100.0	100.0	98.6	97.3	96.3	95.7	97.2	95.7	96.6	95.4
東北	残留率	34.9	34.6	35.1	34.7	36.4	37.0	37.1	36.1	38.1	37.2
	指数	100.0	99.1	100.6	99.4	104.3	106.0	106.3	103.4	109.2	106.6
北関東	残留率	26.1	26.7	26.5	26.7	26.7	27.5	28.5	28.1	27.8	28.3
	指数	100.0	102.3	101.5	102.3	102.3	105.4	109.2	107.7	106.5	108.4
南関東	残留率	48.8	48.7	49.0	49.2	49.2	49.4	49.5	49.9	49.9	49.8
	指数	100.0	99.8	100.4	100.8	100.8	101.2	101.4	102.3	102.3	102.0
甲信越	残留率	28.5	27.7	29.3	28.7	27.8	31.0	31.8	30.2	32.7	32.1
	指数	100.0	97.2	102.8	100.7	97.5	108.8	111.6	106.0	114.7	112.6
北陸	残留率	32.3	31.8	34.0	33.7	35.2	36.5	37.6	36.0	37.6	37.1
	指数	100.0	98.5	105.3	104.3	109.0	113.0	116.4	111.5	116.4	114.9
東海	残留率	53.0	53.1	54.1	53.7	54.1	54.7	54.3	54.0	54.3	54.2
	指数	100.0	100.2	102.1	101.3	102.1	103.2	102.5	101.9	102.5	102.3
近畿	残留率	46.6	47.0	46.8	47.9	48.3	48.8	48.9	48.8	49.1	49.4
	指数	100.0	100.9	100.4	102.8	103.6	104.7	104.9	104.7	105.4	106.0
中国	残留率	46.0	46.3	46.7	46.4	46.0	46.9	46.8	45.8	46.0	45.2
	指数	100.0	100.7	101.5	100.9	100.0	102.0	101.7	99.6	100.0	98.3
四国	残留率	31.5	31.7	31.4	30.8	32.2	31.8	31.9	31.6	32.4	32.5
	指数	100.0	100.6	99.7	97.8	102.2	101.0	101.3	100.3	102.9	103.2
九州沖縄	残留率	50.6	50.4	50.2	50.0	50.5	49.8	51.3	50.2	50.3	49.6
	指数	100.0	99.6	99.2	98.8	99.8	98.4	101.4	99.2	99.4	98.0

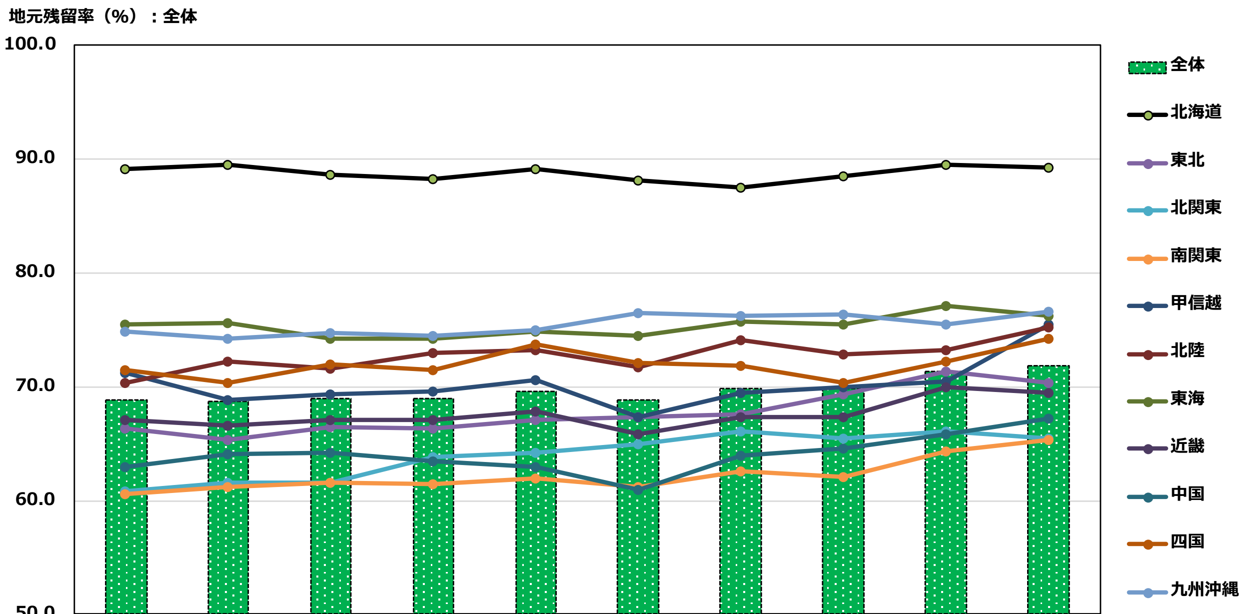
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率の推移（全体：短期大学入学者数：エリア別：2013～2022年）

■2013年68.8%→2022年71.8%（3.0ポイント上昇）

・全体で2013年68.8%→2022年71.8%と3.0ポイント上昇。
・2022年上昇が高いのは、1位 南関東（107.8）、2位 北関東（107.7）、3位 北陸（107.0）。※注
・2022年残留率が高いのは、1位 北海道（89.3%）、2位 九州沖縄（76.6%）、3位 東海（76.2%）。
・2022年残留率が低いのは、1位 南関東（65.3%）、2位 北関東（65.5%）、3位 中国（67.2%）。

※注（）内は指数＝2013年を100として算出



		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
全体	残留率	68.8	68.7	69.0	69.0	69.6	68.9	69.9	69.9	71.3	71.8
	指数	100.0	99.9	100.3	100.3	101.2	100.1	101.6	101.6	103.6	104.4
北海道	残留率	89.1	89.5	88.6	88.3	89.2	88.1	87.5	88.5	89.5	89.3
	指数	100.0	100.4	99.4	99.1	100.1	98.9	98.2	99.3	100.4	100.2
東北	残留率	66.3	65.4	66.5	66.4	67.1	67.4	67.6	69.3	71.3	70.4
	指数	100.0	98.6	100.3	100.2	101.2	101.7	102.0	104.5	107.5	106.2
北関東	残留率	60.8	61.6	61.6	63.8	64.2	65.0	66.1	65.5	66.1	65.5
	指数	100.0	101.3	101.3	104.9	105.6	106.9	108.7	107.7	108.7	107.7
南関東	残留率	60.6	61.2	61.6	61.4	62.0	61.2	62.6	62.1	64.3	65.3
	指数	100.0	101.0	101.7	101.3	102.3	101.0	103.3	102.5	106.1	107.8
甲信越	残留率	71.2	68.9	69.3	69.6	70.6	67.4	69.5	70.0	70.5	75.5
	指数	100.0	96.8	97.3	97.8	99.2	94.7	97.6	98.3	99.0	106.0
北陸	残留率	70.3	72.2	71.6	73.0	73.2	71.7	74.1	72.8	73.2	75.2
	指数	100.0	102.7	101.8	103.8	104.1	102.0	105.4	103.6	104.1	107.0
東海	残留率	75.5	75.6	74.3	74.2	74.9	74.5	75.8	75.5	77.1	76.2
	指数	100.0	100.1	98.4	98.3	99.2	98.7	100.4	100.0	102.1	100.9
近畿	残留率	67.1	66.6	67.1	67.1	67.8	65.8	67.4	67.4	70.0	69.5
	指数	100.0	99.3	100.0	100.0	101.0	98.1	100.4	100.4	104.3	103.6
中国	残留率	63.0	64.1	64.2	63.4	62.9	61.0	63.9	64.6	65.9	67.2
	指数	100.0	101.7	101.9	100.6	99.8	96.8	101.4	102.5	104.6	106.7
四国	残留率	71.5	70.3	72.0	71.5	73.8	72.1	71.8	70.3	72.2	74.2
	指数	100.0	98.3	100.7	100.0	103.2	100.8	100.4	98.3	101.0	103.8
九州沖縄	残留率	74.9	74.2	74.8	74.5	75.0	76.5	76.2	76.4	75.5	76.6
	指数	100.0	99.1	99.9	99.5	100.1	102.1	101.7	102.0	100.8	102.3

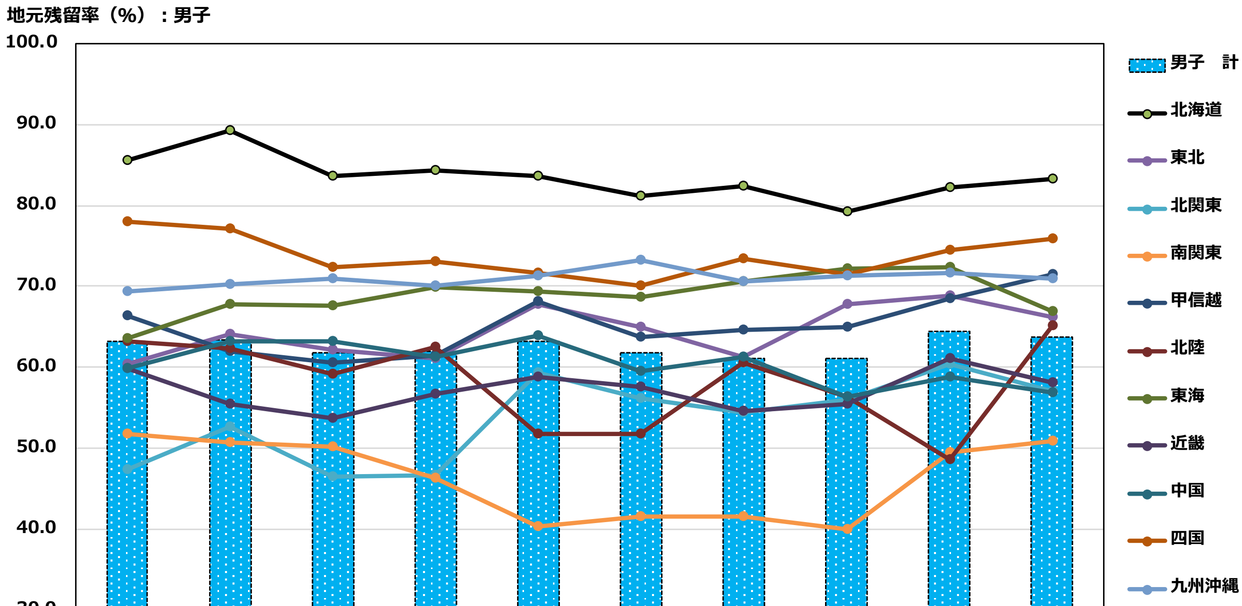
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率の推移（男子：短期大学入学者数：エリア別：2013～2022年）

■2013年63.2%→2022年63.8%（0.6ポイント上昇）

・男子は2013年63.2%→2022年63.8%と0.6ポイント上昇。
・2022年上昇が高いのは、1位 北関東（120.7）、2位 東北（109.8）、3位 甲信越（107.8）。※注
・2022年残留率が高いのは、1位 北海道（83.2%）、2位 四国（75.8%）、3位 甲信越（71.5%）。
・2022年残留率が低いのは、1位 南関東（50.9%）、2位 中国（56.8%）、3位 北関東（57.1%）。

※注（）内は指数＝2013年を100として算出



		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
男子　計	残留率	63.2	63.3	61.7	62.0	63.2	61.8	61.0	61.0	64.4	63.8
	指数	100.0	100.2	97.6	98.1	100.0	97.8	96.5	96.5	101.9	100.9
北海道	残留率	85.5	89.3	83.7	84.3	83.7	81.1	82.4	79.2	82.2	83.2
	指数	100.0	104.4	97.9	98.6	97.9	94.9	96.4	92.6	96.1	97.3
東北	残留率	60.3	64.0	62.2	61.0	67.7	64.9	61.2	67.7	68.8	66.2
	指数	100.0	106.1	103.2	101.2	112.3	107.6	101.5	112.3	114.1	109.8
北関東	残留率	47.3	52.6	46.5	46.7	59.3	56.2	54.3	55.9	60.4	57.1
	指数	100.0	111.2	98.3	98.7	125.4	118.8	114.8	118.2	127.7	120.7
南関東	残留率	51.7	50.6	50.2	46.3	40.2	41.6	41.5	40.0	49.4	50.9
	指数	100.0	97.9	97.1	89.6	77.8	80.5	80.3	77.4	95.6	98.5
甲信越	残留率	66.3	61.9	60.6	61.4	68.1	63.8	64.6	65.0	68.4	71.5
	指数	100.0	93.4	91.4	92.6	102.7	96.2	97.4	98.0	103.2	107.8
北陸	残留率	63.1	62.3	59.1	62.5	51.8	51.8	60.5	56.3	48.5	65.1
	指数	100.0	98.7	93.7	99.0	82.1	82.1	95.9	89.2	76.9	103.2
東海	残留率	63.5	67.8	67.5	69.9	69.4	68.6	70.6	72.1	72.3	66.9
	指数	100.0	106.8	106.3	110.1	109.3	108.0	111.2	113.5	113.9	105.4
近畿	残留率	59.9	55.4	53.7	56.7	58.8	57.6	54.5	55.5	61.1	58.1
	指数	100.0	92.5	89.6	94.7	98.2	96.2	91.0	92.7	102.0	97.0
中国	残留率	59.8	63.2	63.2	61.3	63.9	59.4	61.3	56.4	58.8	56.8
	指数	100.0	105.7	105.7	102.5	106.9	99.3	102.5	94.3	98.3	95.0
四国	残留率	78.0	77.1	72.3	73.1	71.6	70.0	73.4	71.4	74.4	75.8
	指数	100.0	98.8	92.7	93.7	91.8	89.7	94.1	91.5	95.4	97.2
九州沖縄	残留率	69.3	70.2	70.9	70.1	71.3	73.3	70.6	71.2	71.6	70.9
	指数	100.0	101.3	102.3	101.2	102.9	105.8	101.9	102.7	103.3	102.3

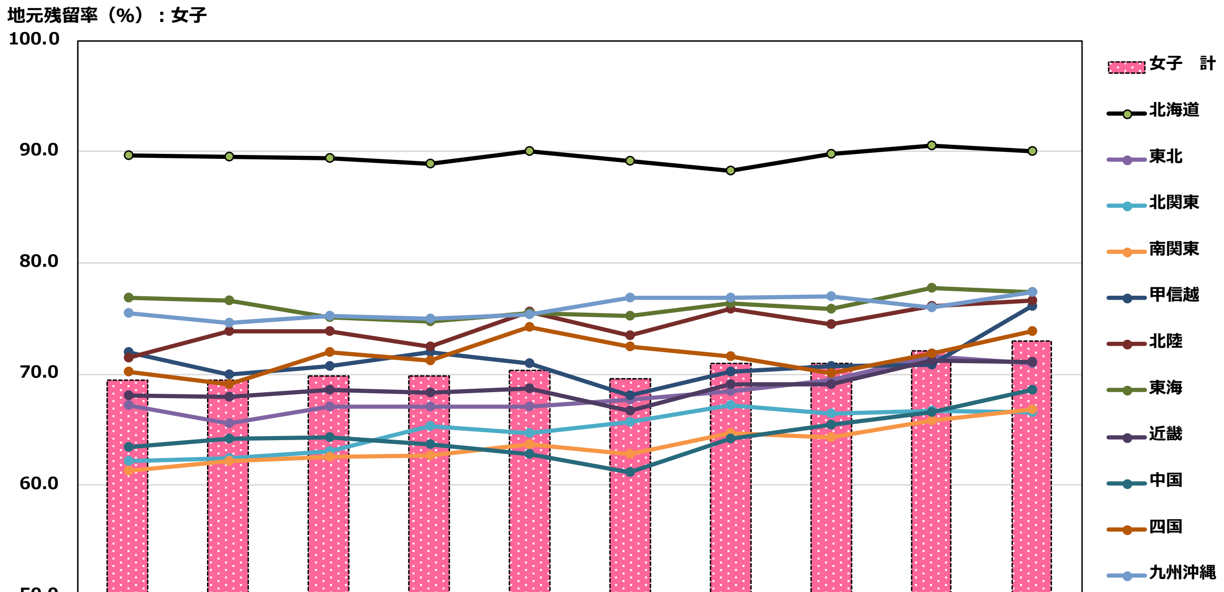
※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率の推移（女子：短期大学入学者数：エリア別：2013～2022年）

■2013年69.5%→2022年72.9%（3.4ポイント上昇）

・女子は2013年69.5%→2022年72.9%と3.4ポイント上昇。
・2021年上昇が高いのは、1位 南関東（109.0）、2位 中国（108.2）、3位 北陸（107.1）。※注
・2022年残留率が高いのは、1位 北海道（90.0%）、2位 東海・九州沖縄（77.4%）。
・2022年残留率が低いのは、1位 北関東（66.5%）、2位 南関東（66.8%）、3位 中国（68.6%）

※注（）内は指数＝2013年を100として算出



		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
女子　計	残留率	69.5	69.4	69.8	69.8	70.3	69.6	70.9	71.0	72.1	72.9
	指数	100.0	99.9	100.4	100.4	101.2	100.1	102.0	102.2	103.7	104.9
北海道	残留率	89.7	89.5	89.4	88.9	90.1	89.2	88.3	89.8	90.5	90.0
	指数	100.0	99.8	99.7	99.1	100.4	99.4	98.4	100.1	100.9	100.3
東北	残留率	67.2	65.6	67.0	67.1	67.1	67.7	68.4	69.5	71.6	71.0
	指数	100.0	97.6	99.7	99.9	99.9	100.7	101.8	103.4	106.5	105.7
北関東	残留率	62.2	62.4	63.0	65.3	64.7	65.7	67.2	66.4	66.7	66.5
	指数	100.0	100.3	101.3	105.0	104.0	105.6	108.0	106.8	107.2	106.9
南関東	残留率	61.3	62.2	62.5	62.6	63.7	62.8	64.6	64.3	65.8	66.8
	指数	100.0	101.5	102.0	102.1	103.9	102.4	105.4	104.9	107.3	109.0
甲信越	残留率	71.9	69.9	70.7	72.0	71.0	68.0	70.2	70.7	70.8	76.1
	指数	100.0	97.2	98.3	100.1	98.7	94.6	97.6	98.3	98.5	105.8
北陸	残留率	71.5	73.9	73.9	72.5	75.6	73.5	75.8	74.5	76.1	76.6
	指数	100.0	103.4	103.4	101.4	105.7	102.8	106.0	104.2	106.4	107.1
東海	残留率	76.8	76.6	75.1	74.7	75.5	75.2	76.4	75.9	77.7	77.4
	指数	100.0	99.7	97.8	97.3	98.3	97.9	99.5	98.8	101.2	100.8
近畿	残留率	68.0	67.9	68.5	68.3	68.7	66.7	69.0	69.1	71.2	71.1
	指数	100.0	99.9	100.7	100.4	101.0	98.1	101.5	101.6	104.7	104.6
中国	残留率	63.4	64.2	64.3	63.7	62.8	61.2	64.1	65.4	66.6	68.6
	指数	100.0	101.3	101.4	100.5	99.1	96.5	101.1	103.2	105.0	108.2
四国	残留率	70.2	69.1	71.9	71.2	74.2	72.4	71.6	70.1	71.8	73.9
	指数	100.0	98.4	102.4	101.4	105.7	103.1	102.0	99.9	102.3	105.3
九州沖縄	残留率	75.5	74.6	75.2	75.0	75.4	76.8	76.8	77.0	76.0	77.4
	指数	100.0	98.8	99.6	99.3	99.9	101.7	101.7	102.0	100.7	102.5

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率（全体：大学・短期大学入学者数：都道府県別：2022年）

■大学入学者の地元残留率1位は愛知、短期大学入学者の地元残留率1位は福岡

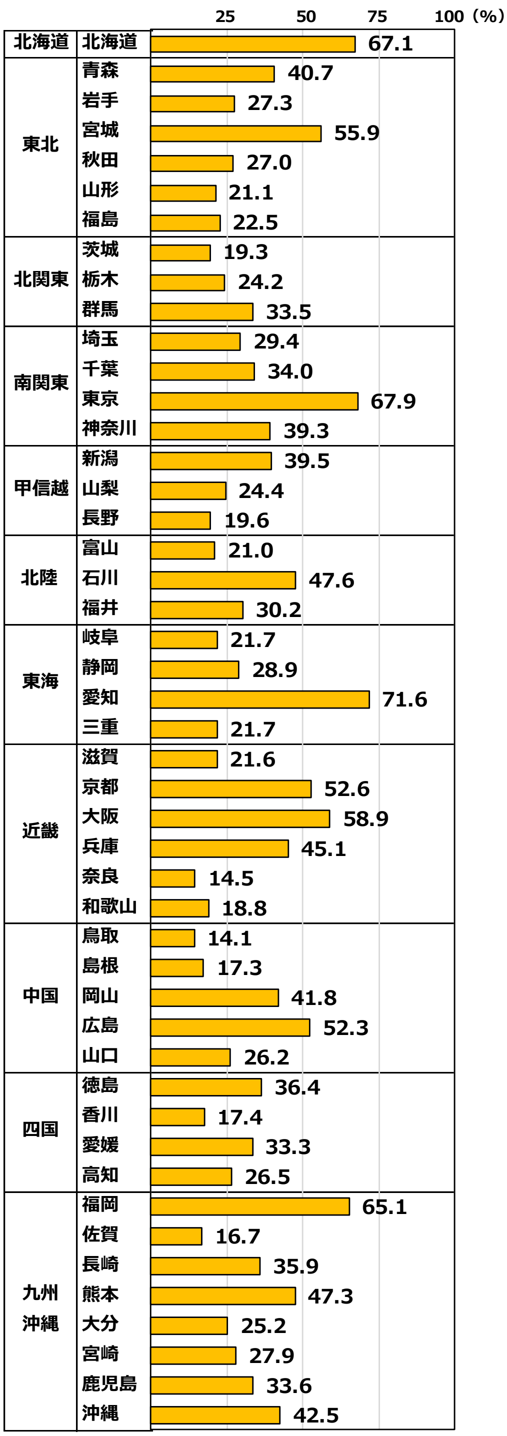
大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位 愛知（71.6%）、2位 東京（67.9%）、3位 北海道（67.1%）
残留率が低いのは、1位 鳥取（14.1%）、2位 奈良（14.5%）、3位 佐賀　（16.7%）

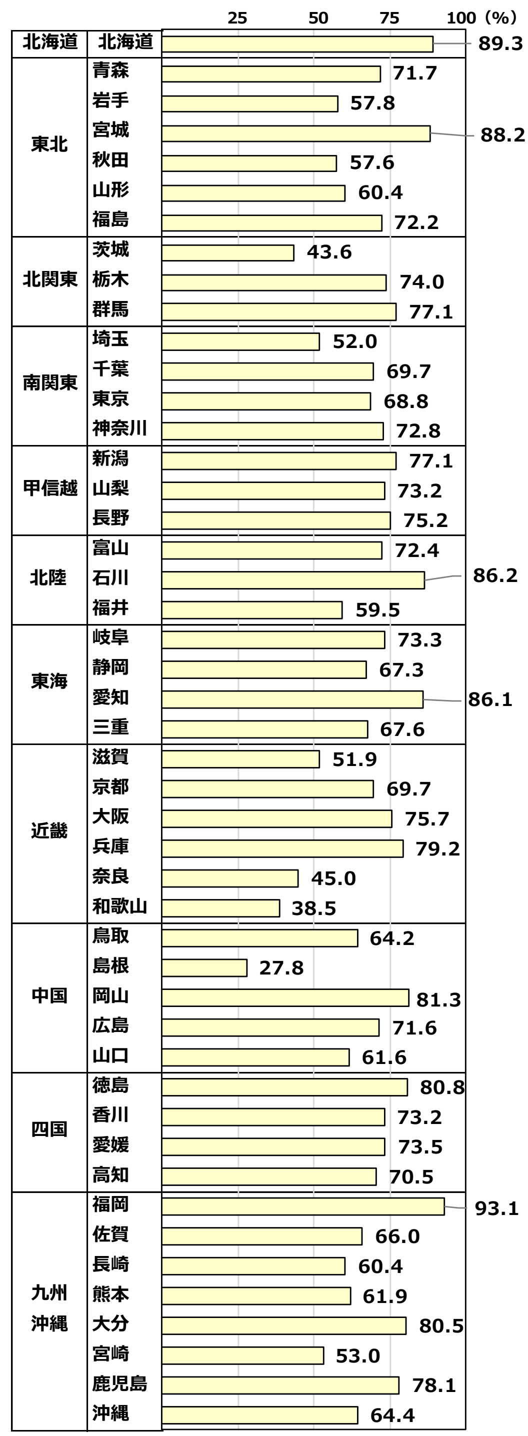
短期大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位 福岡（93.1%）、2位 北海道（89.3%）、3位 宮城（88.2%）
残留率が低いのは、1位 島根（27.8%）、2位 和歌山（38.5%）、3位 茨城（43.6%）

【大学入学者地元残留率：全体】



【短期大学入学者地元残留率：全体】



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率（男子：大学・短期大学入学者数：都道府県別：2022年）

■大学入学者の地元残留率1位は愛知、短期大学入学者の残留率1位は福岡

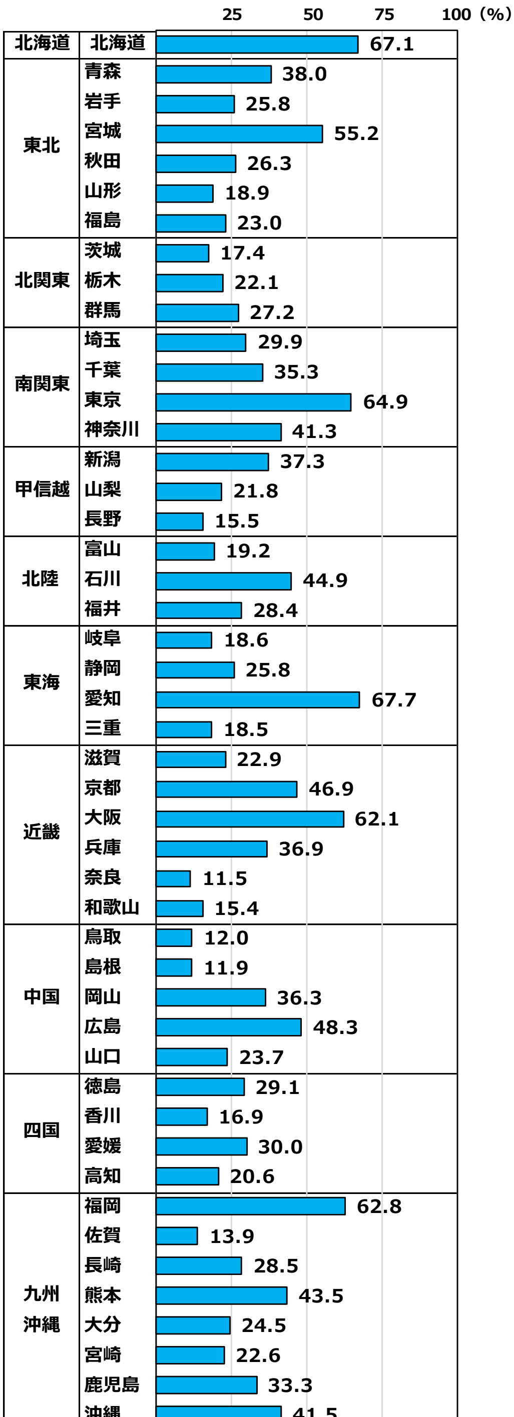
大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位 愛知（67.7%）、2位 北海道（67.1%）、3位 東京（64.9%）
残留率が低いのは、1位 奈良（11.5%）、2位 島根　（11.9%）、3位 鳥取（12.0%）

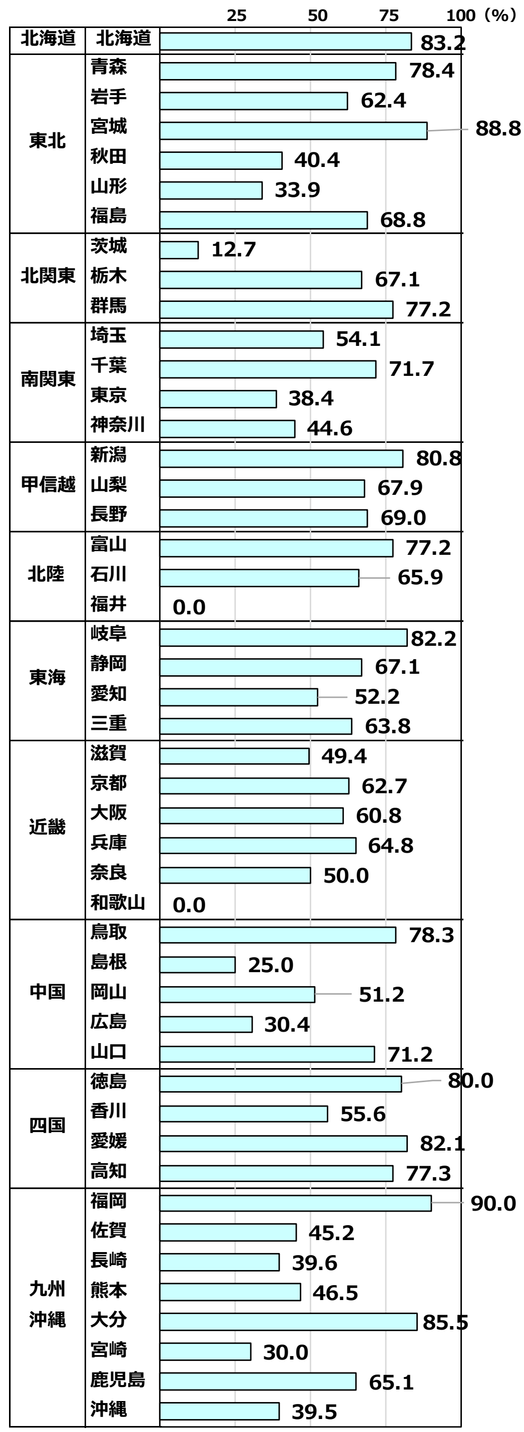
短期大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位 福岡（90.0%）、2位 宮城（88.8%）、3位 大分（85.5%）
残留率が低いのは、1位 茨城（12.7%）、2位 島根（25.0%）、3位 宮崎（30.0%）

【大学入学者地元残留率：男子】



【短期大学入学者地元残留率：男子】



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

地元残留率（女子：大学・短期大学入学者数：都道府県別：2022年）

■大学入学者の地元残留率1位は愛知、短期大学入学者の地元残留率1位は福岡

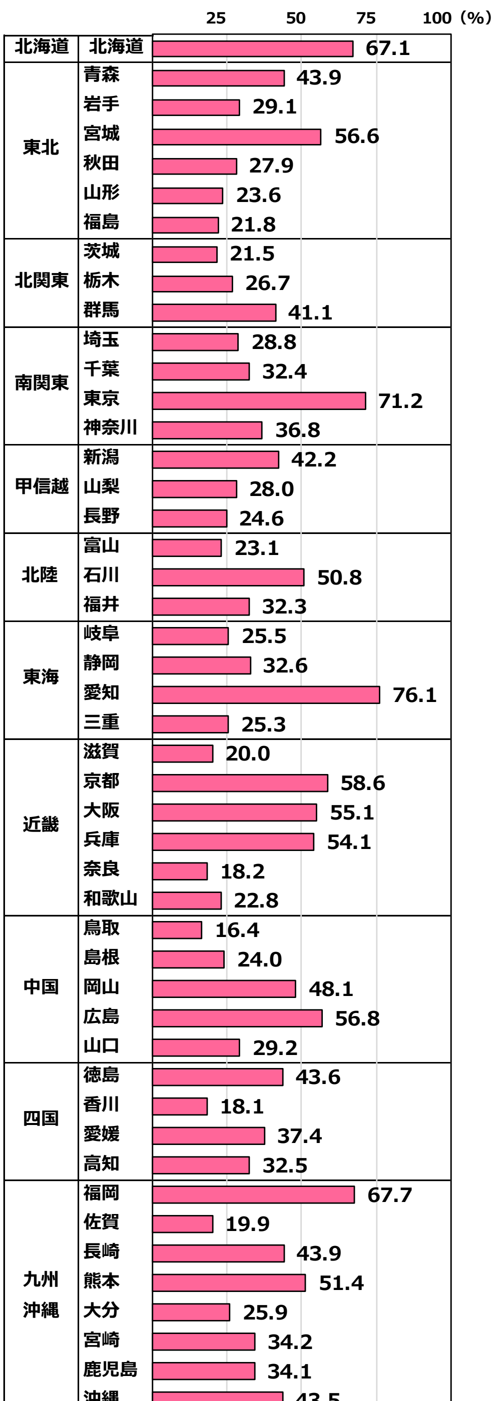
大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位 愛知（76.1%）、2位 東京（71.2%）、3位 福岡（67.7%）
残留率が低いのは、1位 鳥取（16.4%）、2位 香川（18.1%）、3位 奈良（18.2%）

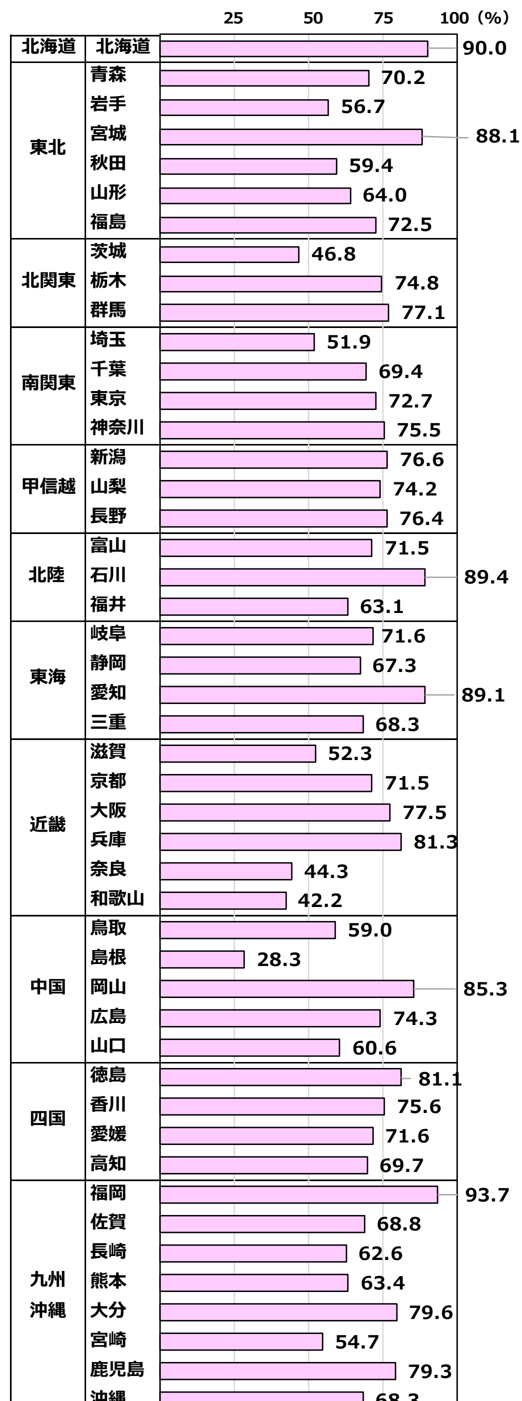
短期大学入学者地元残留率

残留率が高いのは、1位 福岡（93.7%）、2位 北海道（90.0%）、3位 石川（89.4%）
残留率が低いのは、1位 島根（28.3%）、2位 和歌山（42.2%）、3位 奈良（44.3%）

【大学入学者地元残留率：女子】



【短期大学入学者地元残留率：女子】



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口減少率×地元残留率（大学入学者：都道府県別：2022→2034年）

■「象限④」（18歳人口減少率が高く地元残留率が低い）に多くの県が集まる

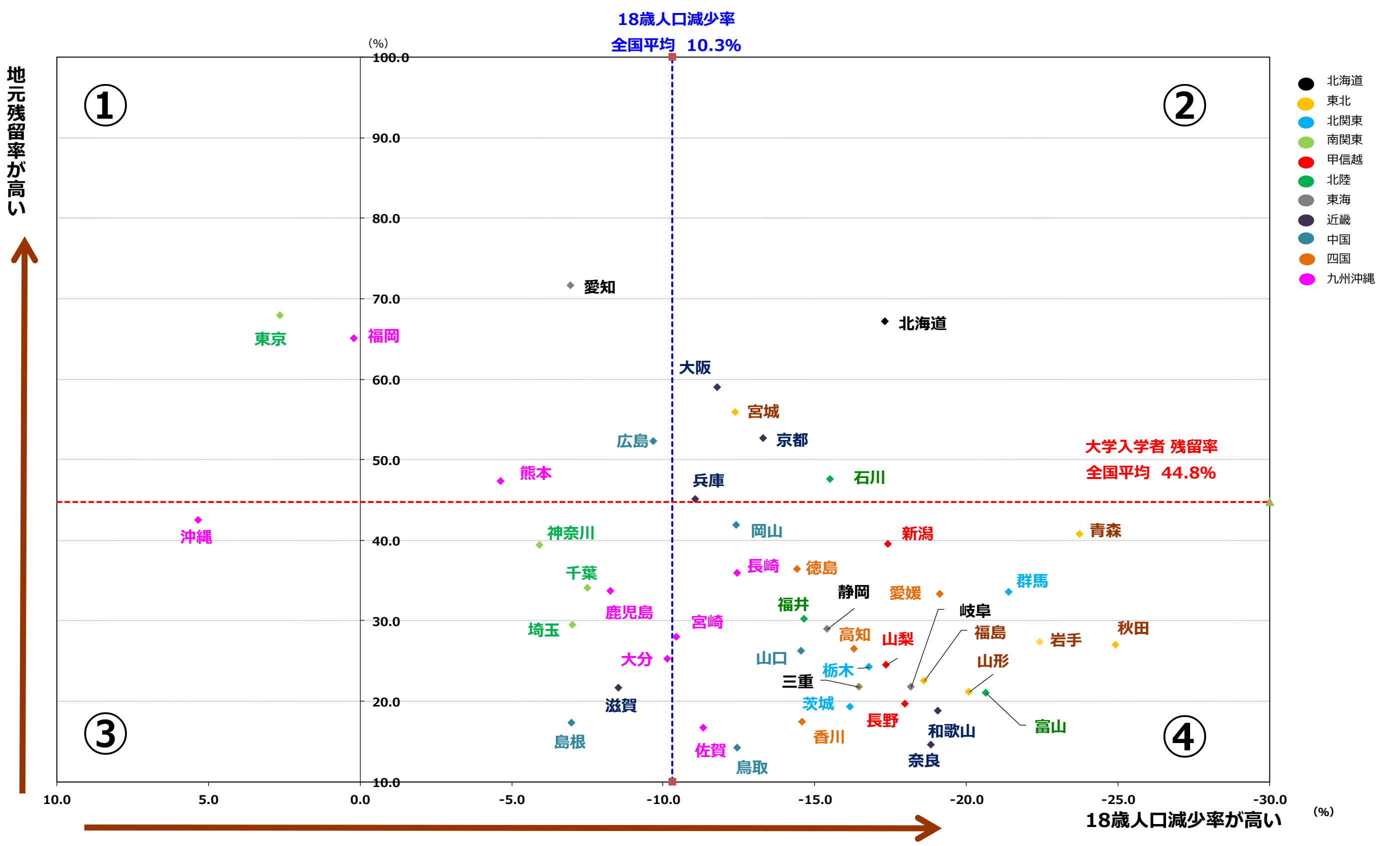
・全国平均でラインを引き4象限に分けると、以下の通りになる。

象限① 18歳人口減少率が低く、地元残留率が高い
：東京、愛知、広島、福岡、熊本
→人口が減少せず、地元にも残るため、県内募集は比較的しやすいセグメント。

象限② 18歳人口減少率が高く、地元残留率が高い
：北海道、宮城、石川、大阪、京都、兵庫
→18歳は比較的地元に残るが、マーケット自体が縮小するセグメント。

象限③ 18歳人口減少率が低く、地元残留率が低い
：神奈川、千葉、埼玉、滋賀、島根、大分、鹿児島、沖縄
→人口は大きくは減少しないものの、周辺県への流出が多いセグメント。

象限④ 18歳人口減少率が高く、地元残留率が低い
：その他の県
→人口減少に加え地元にも残留しないため、地元募集だけでは厳しいセグメント。

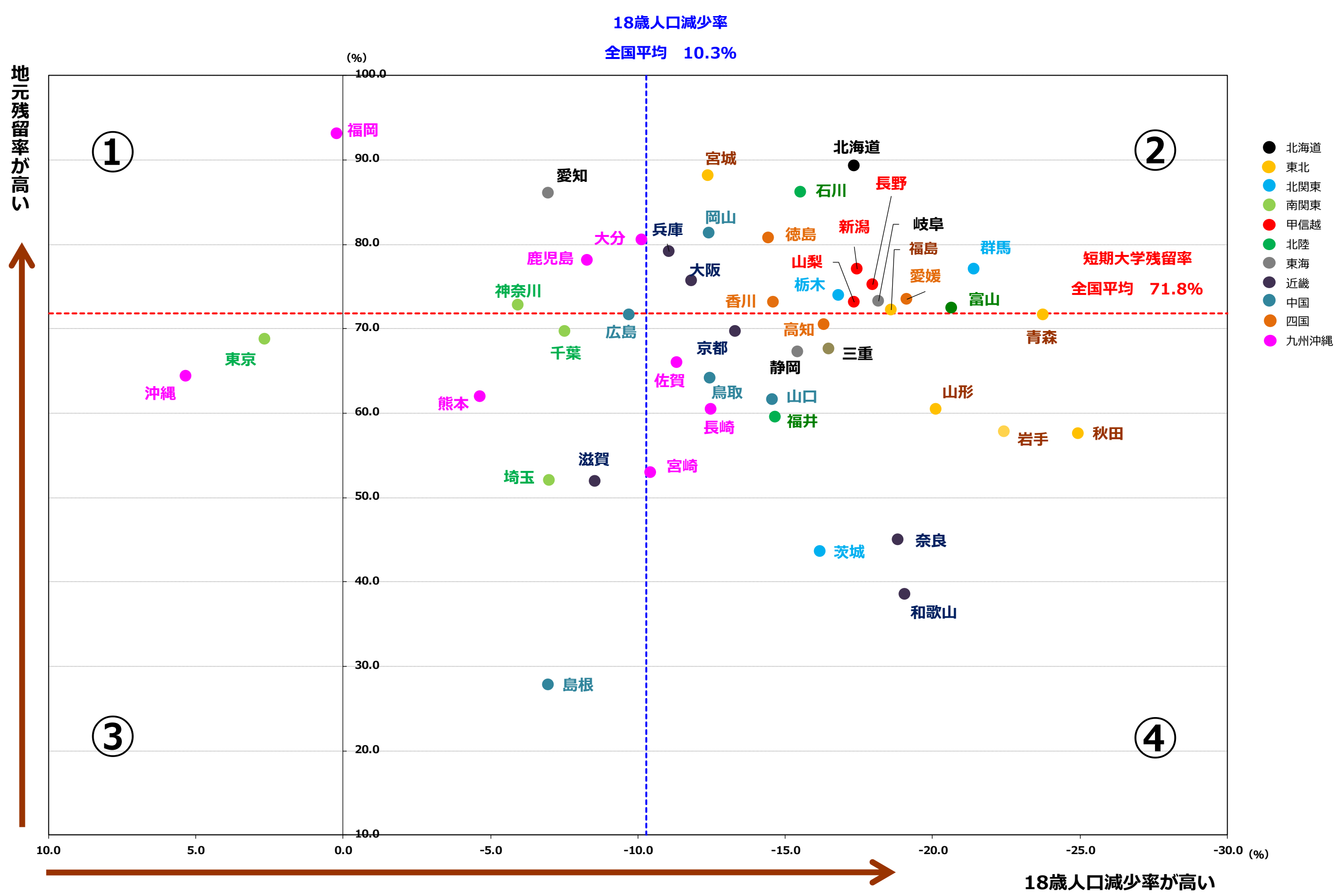


※データ元：文部科学省「学校基本調査」

18歳人口減少率×地元残留率（短期大学入学者：都道府県別：2022→2034年）

■大学進学者と比較すると、地元に残留する傾向が強い

・短期大学の特性として比較的地元密着の傾向が強く、
　大学進学者と比較すると地元残留率の平均が27.0ポイント高い。
・全国平均でラインを引き4象限に分けると、以下の通りになる。
　象限① 18歳人口減少率が低く、地元残留率が高い
　　　　　：神奈川、愛知、福岡、大分、鹿児島
　　　　　→人口が減少せず、地元にも残るため、県内募集は比較的しやすいセグメント。
　象限② 18歳人口減少率が高く、地元残留率が高い
　　　　　：北海道、宮城、福島、群馬、栃木、長野、新潟、山梨、岐阜、石川、富山、
　　　　　　大阪、兵庫、岡山、徳島、香川、愛媛
　　　　　→18歳は比較的地元に残るが、マーケット自体が縮小するセグメント。
　象限③ 18歳人口減少率が低く、地元残留率が低い
　　　　　：東京、埼玉、千葉、滋賀、広島、島根、熊本、沖縄
　　　　　→人口は大きくは減少しないものの、周辺県への流出が多いセグメント。
　象限④ 18歳人口減少率が高く、地元残留率が低い
　　　　　：その他の府県
　　　　　→人口減少に加え地元にも残留しないため、地元募集だけでは厳しいセグメント。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」